

子ども・若者の生活実態・意識調査  
結果報告書（概要版）

令和4年1月

愛 知 県



# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査の設計 .....	1
3 調査項目 .....	1
4 回収結果 .....	1
5 報告書の見方 .....	2
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
(1) 回答者属性 .....	2
(2) 現在の生活について .....	8
(3) 自身について感じていることや将来について .....	10
(4) 居場所や人とのつながりについて .....	16
(5) 子ども・若者を対象とした支援について .....	22
(6) インターネットの利用について .....	24
(7) 地域のことやボランティア活動について .....	26
(8) 社会全般のことについて .....	29
<b>III 自由意見・参考意見等</b> .....	<b>30</b>
【分類別の主な意見（一部抜粋）】 .....	31



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

昨今、貧困の連鎖、地域におけるつながりの希薄化、急速なスマートフォンの普及等、子ども・若者を取り巻く環境は大きく変化している。

こうした現状を踏まえ、愛知県の子ども・若者について、家庭や学校、地域などでの生活実態や意識を調査し、今後、策定する子ども・若者育成支援に係る新たな計画における基礎データとするとともに、今後の施策立案の参考とする。

## 2 調査の設計

- (1) 調査地域：愛知県内（名古屋、尾張、海部、知多、西三河、東三河）の各地域
- (2) 調査対象：県内市町村在住の15歳から39歳までの男女
- (3) 標本数：3,000人
- (4) 抽出方法：層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法：調査票を郵送配布。回収は受取人払いによる郵送およびwebアンケートシステムの2通りで行った。
- (6) 調査時期：令和3年10月29日（金）～11月15日（月）

## 3 調査項目

- ①自身のことについて
- ②現在の生活のことについて
- ③自身について感じていること、将来について考えていることについて
- ④自身の居場所や人とのつながりについて、感じていること、悩み事などについて
- ⑤子ども・若者を対象とした支援について
- ⑥インターネットの利用について
- ⑦地域のことやボランティア活動について
- ⑧社会全般のことについて

## 4 回収結果

郵送数	3,000
有効回答数	1,246
うち郵送回答	671
うちweb回答	575
有効回答率	41.5%

## 5 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・本文中の設問の選択肢で文字数が多いものは簡略化している場合があります。

## II 調査結果

### （1）回答者属性

問1 あなたの性別をお知らせください。（1つだけ○）

性別	回答者数（件）	構成比
男性	489	39.2%
女性	739	59.3%
どちらともいえない	8	0.6%
答えたくない	9	0.7%
無回答	1	0.1%
全体	1,246	100.0%

問2 あなたの年齢を記入してください。（2021年4月2日現在でお答えください。）

年齢	回答者数（件）	構成比
15～19歳	153	12.3%
20～24歳	219	17.6%
25～29歳	271	21.7%
30～34歳	270	21.7%
35～39歳	326	26.2%
無回答	7	0.6%
全体	1,246	100.0%

問3 あなたの国籍はどこですか。(1つだけ○)

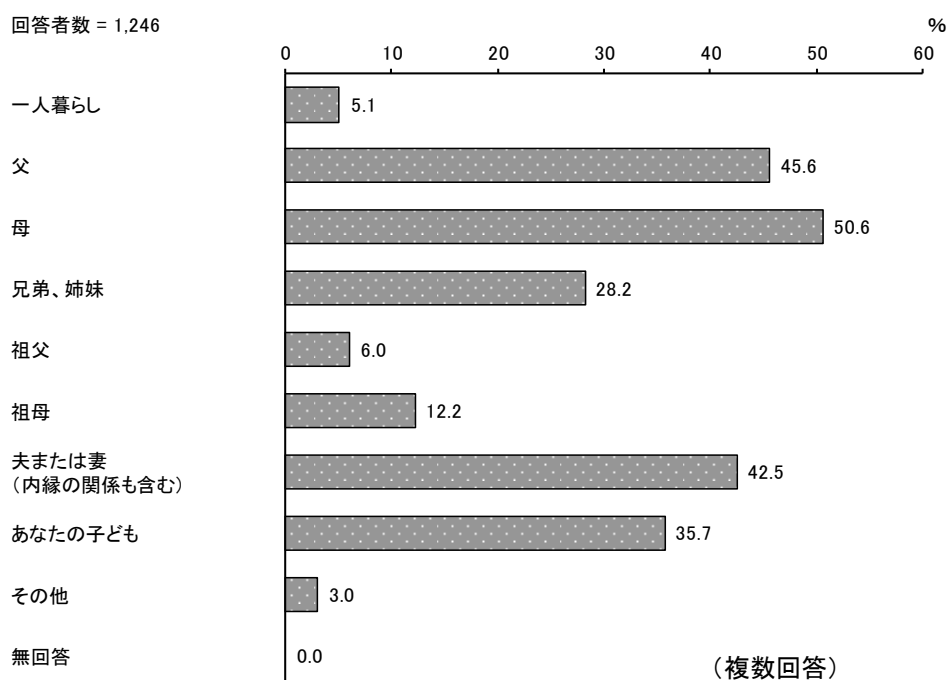
国籍	回答者数(件)	構成比
日本	1,244	99.8%
日本以外	1	0.1%
わからない	—	—
無回答	1	0.1%
全体	1,246	100.0%

問4 あなたが今、住んでいる地域を選んでください。(1つだけ○)

居住地域	回答者数(件)	構成比
名古屋	374	30.0%
尾張	323	25.9%
海部	47	3.8%
知多	103	8.3%
西三河	301	24.2%
東三河	95	7.6%
無回答	3	0.2%
全体	1,246	100.0%

問5 あなたは今、どなたと一緒に住んでいますか。(いくつでも○)

「母」の割合が50.6%と最も高く、次いで「父」の割合が45.6%、「夫または妻(内縁の関係も含む)」の割合が42.5%となっています。

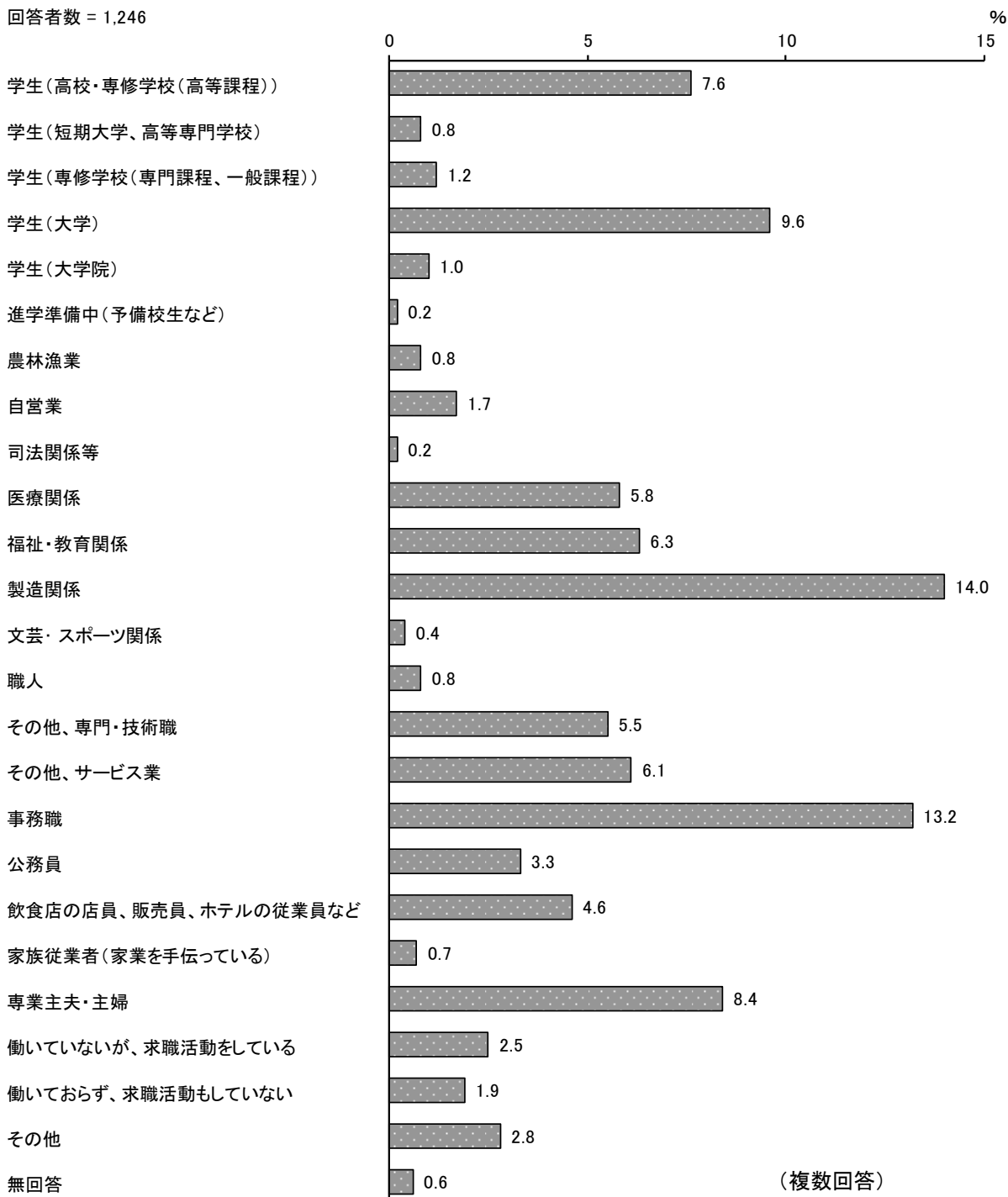


問6 あなたの職業（学生の方は学校）はどれですか。（1つだけ○）

「製造関係」の割合が14.0%と最も高く、次いで「事務職」の割合が13.2%となっています。

「学生」と「働いている人」の割合は、「学生」（進学準備中を除く）が20.2%、「働いている人」が65.5%となっています。

回答者数 = 1,246

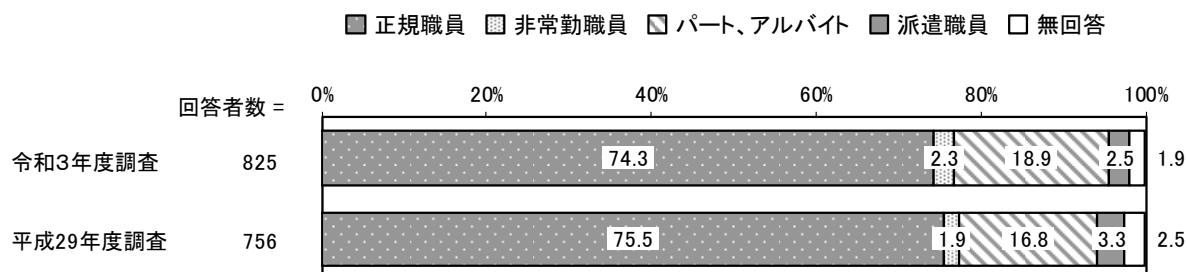




**問7 【働いている人へ】**  
あなたの雇用形態はどれですか。(1つだけ○)

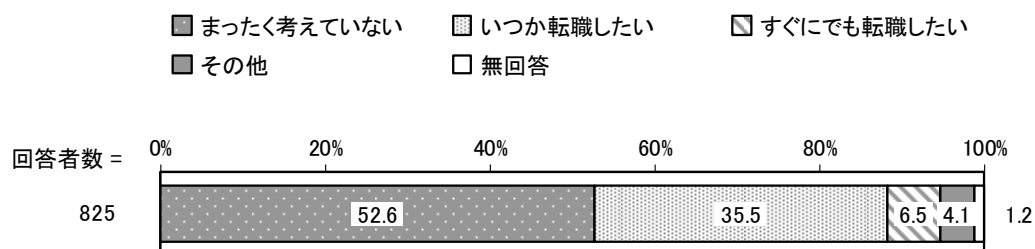
「正規職員」の割合が74.3%と最も高く、次いで「パート、アルバイト」の割合が18.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



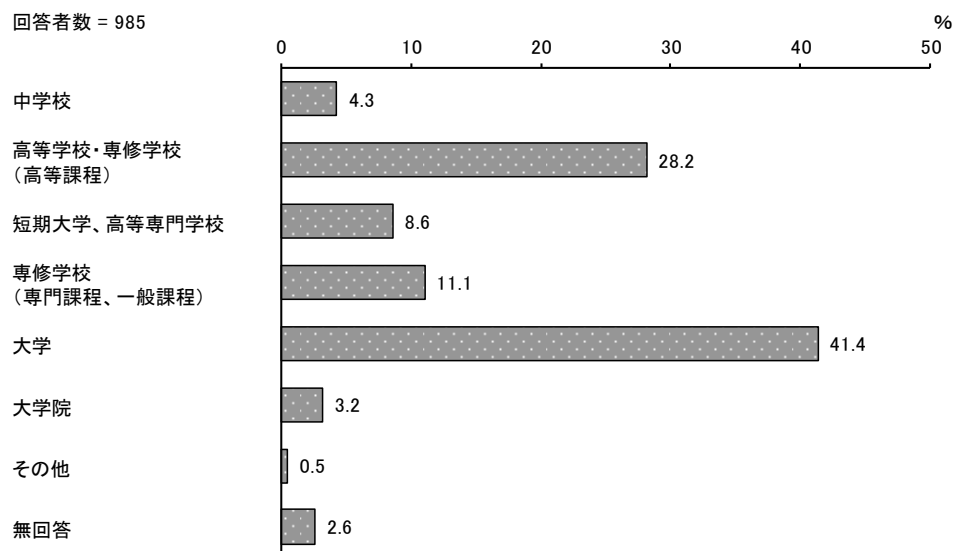
**問8 【働いている人へ】**  
あなたは今、転職を考えていますか。(1つだけ○)

「まったく考えていない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「いつか転職したい」の割合が35.5%となっています。



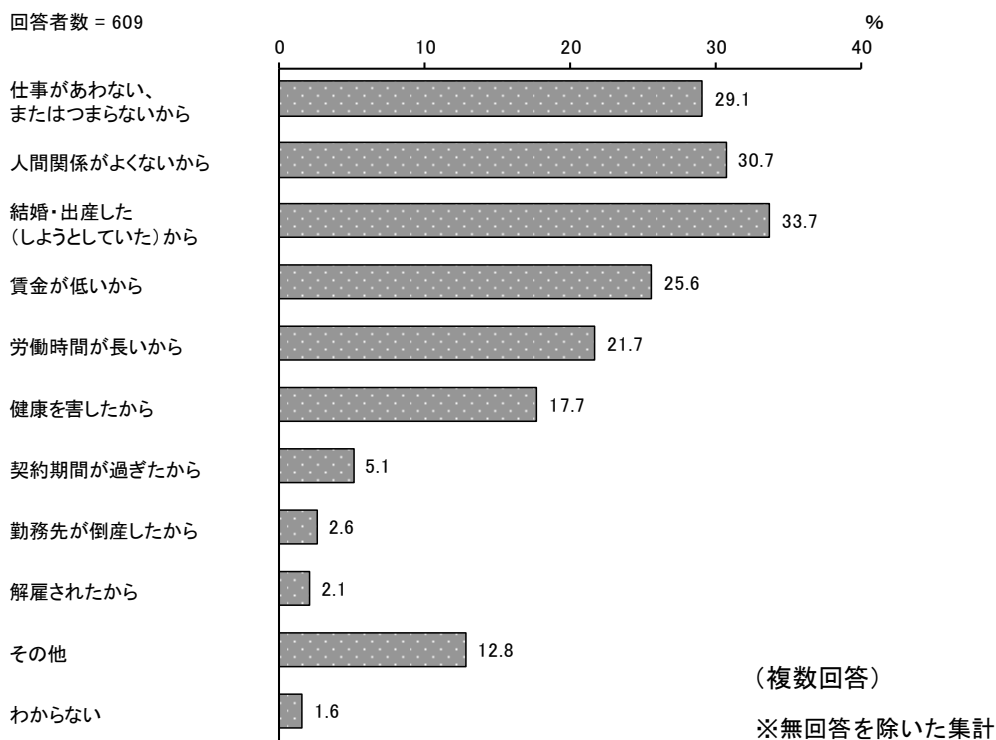
**問9 【問6で「7. 農林漁業」～「24. その他」と○をつけた時に応えてください】**  
あなたが最後に卒業した学校はどれですか。(1つだけ○)

「大学」の割合が41.4%と最も高く、次いで「高等学校・専修学校(高等課程)」の割合が28.2%、「専修学校(専門課程、一般課程)」の割合が11.1%となっています。



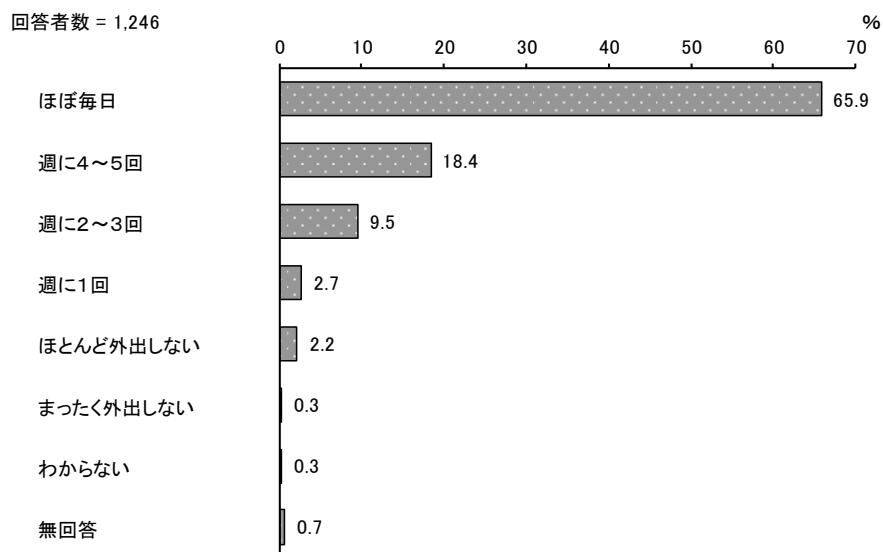
**問10 仕事を辞めたことがある人におたずねします。  
あなたが仕事をやめたのはなぜですか。(いくつでも○)**

「結婚・出産した(しようとしていた)から」の割合が33.7%と最も高く、次いで「人間関係がよくないから」の割合が30.7%、「仕事があわない、またはつまらないから」の割合が29.1%となっています。



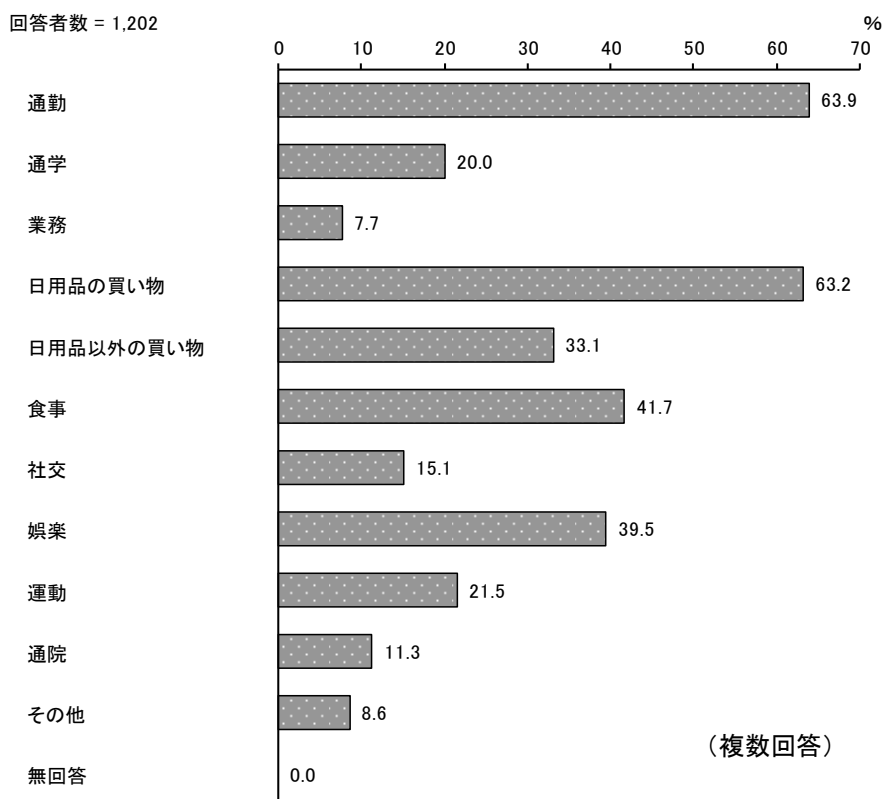
**問11 あなたは、ふだん週に何回くらい外出しますか。(1つだけ○)**

「ほぼ毎日」の割合が65.9%と最も高く、次いで「週に4～5回」の割合が18.4%となっています。



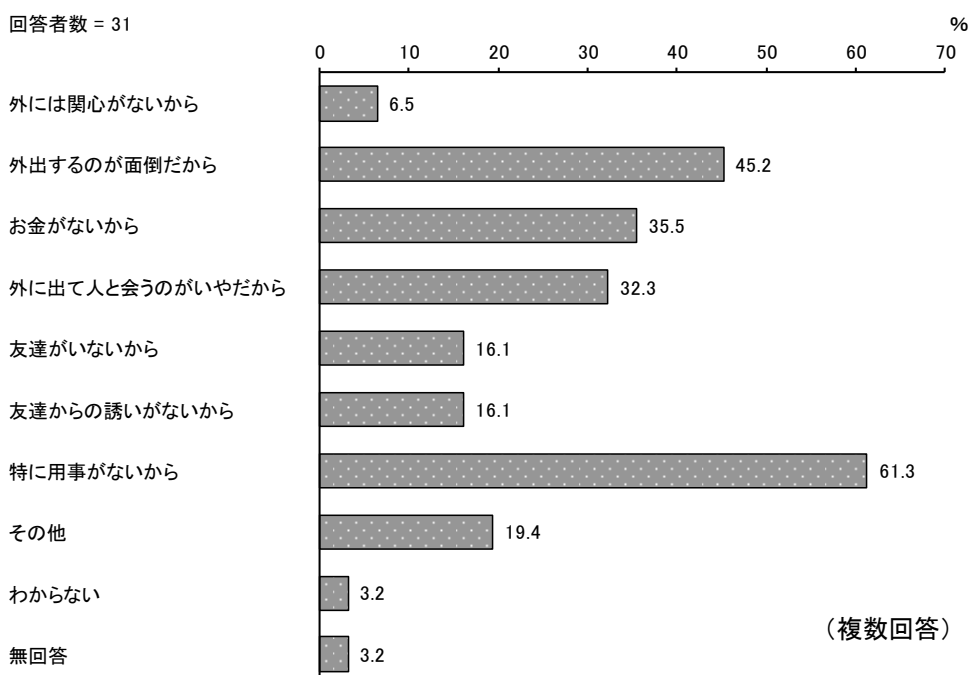
**問 12 【問 11 で「1. ほぼ毎日」～「4. 週に1回」と○をつけた時に応えてください】  
あなたの外出の目的は何ですか。（いくつでも○）**

「通勤」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「日用品の買い物」の割合が 63.2%、「食事」の割合が 41.7%となっています。



**問 13 【問 11 で「5. ほとんど外出しない」～「6. まったく外出しない」と○をつけた時に応えてください】  
あなたが外出しない理由は何ですか。（いくつでも○）**

「特に用事がないから」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「外出するのが面倒だから」の割合が 45.2%、「お金がないから」の割合が 35.5%となっています。

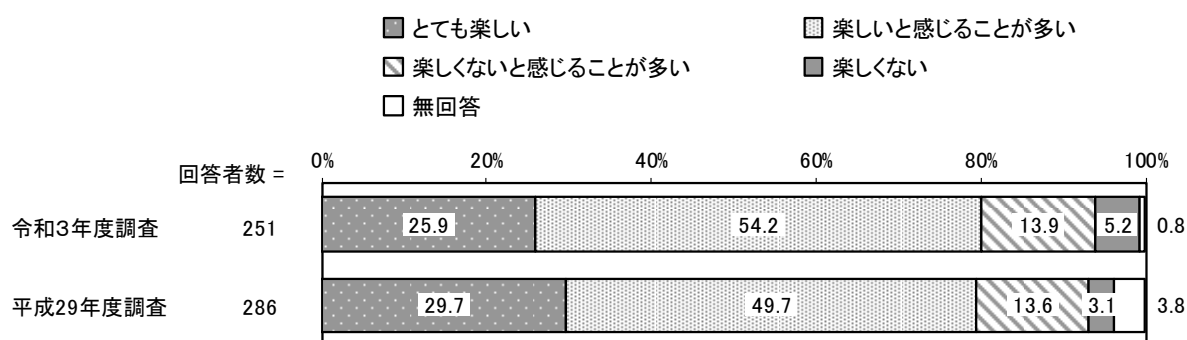


## (2) 現在の生活について

### 問 14 【学生の人へ】 学校は楽しいですか。(1つだけ○)

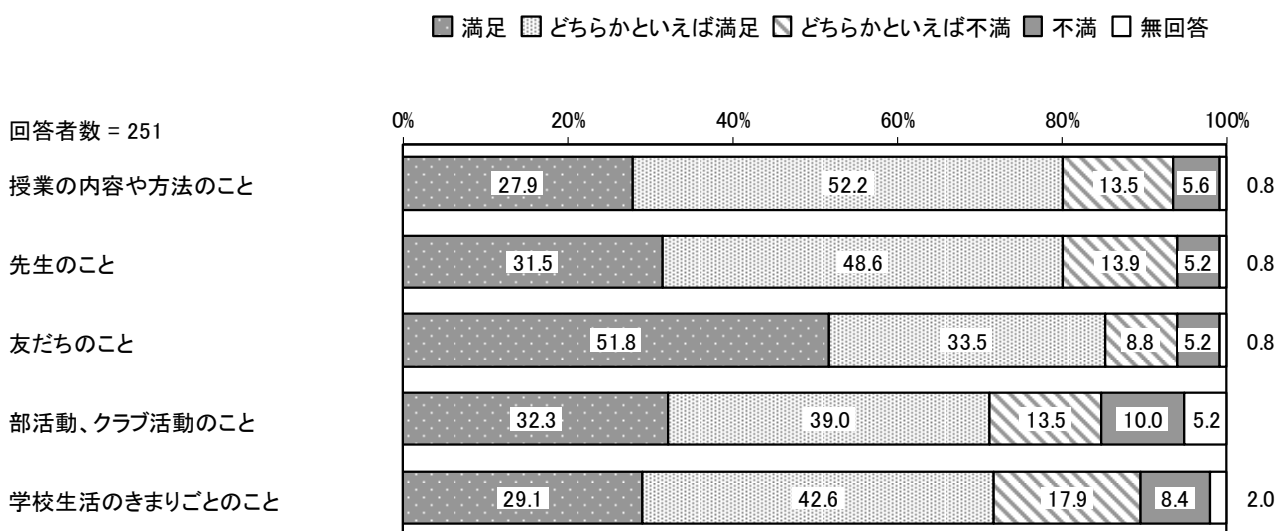
「とても楽しい」と「楽しいと感じることが多い」をあわせた“楽しい”の割合が80.1%、「楽しくないと感じることが多い」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が19.1%となっています。

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 問 15 【学生の人へ】 あなたは、学校生活に満足していますか。(それぞれについて1つだけ○)

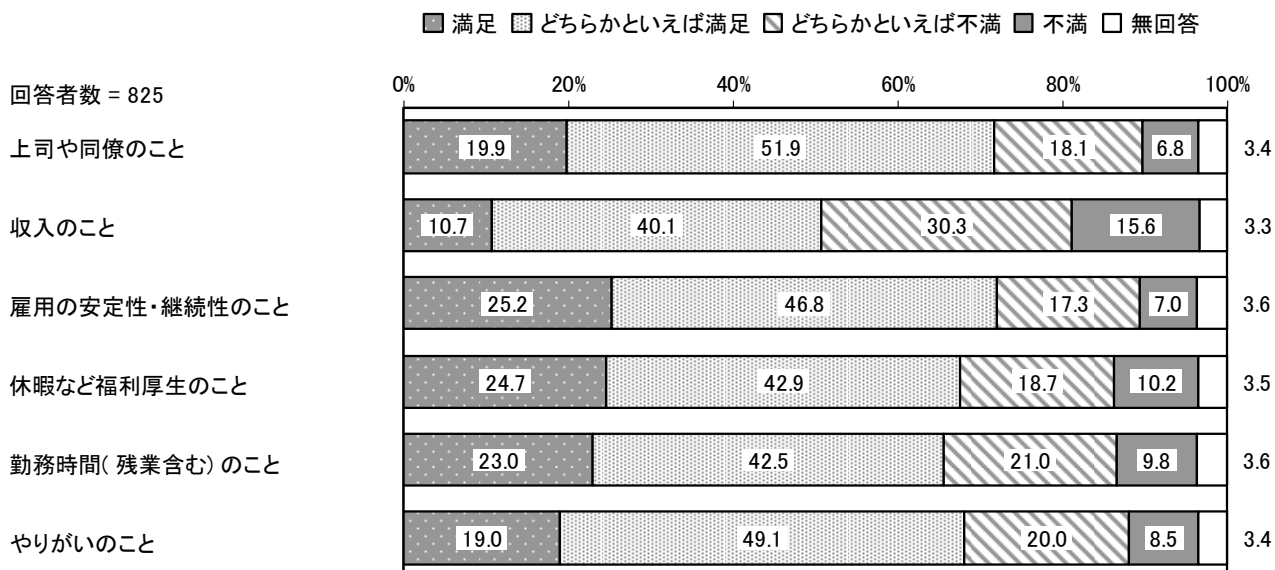
『友だちのこと』で「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。



問 16 【働いている人へ】

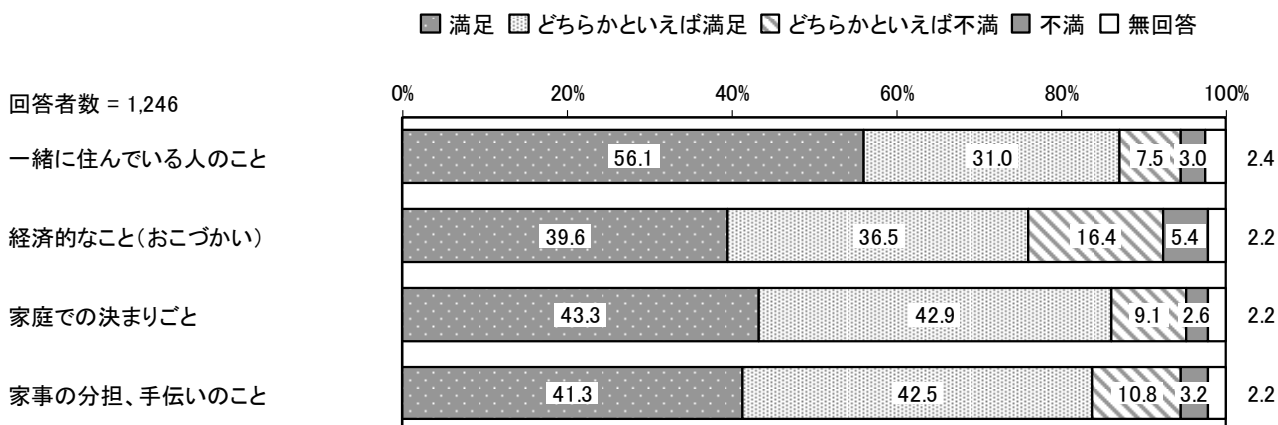
あなたは、仕事に満足していますか。(それぞれについて1つだけ○)

『収入のこと』で「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた“満足”の割合が低くなっています。



問 17 あなたは、家での生活に満足していますか。(それぞれについて1つだけ○)

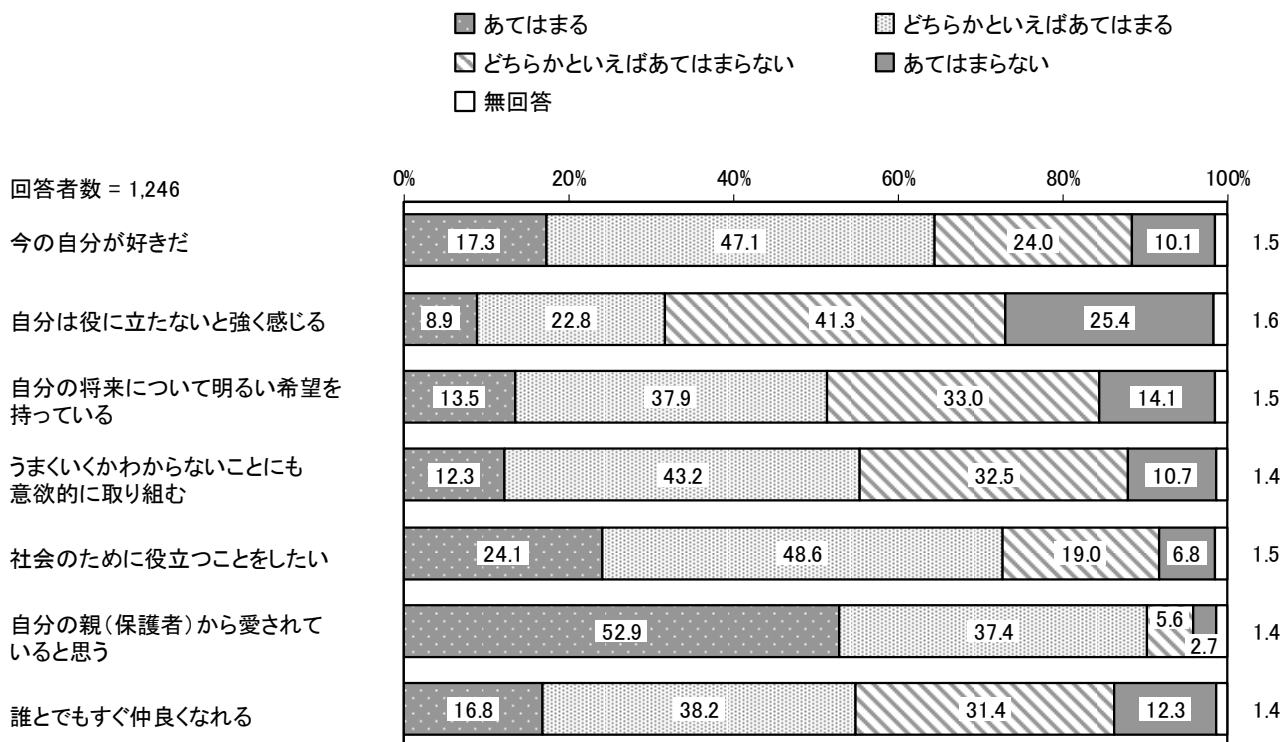
『経済的なこと(おこづかい)』で「どちらかといえば不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高くなっています。



### (3) 自身について感じていることや将来について

問 18 次のことはあなたにとってどのくらいあてはまりますか。  
(それぞれについて1つだけ○)

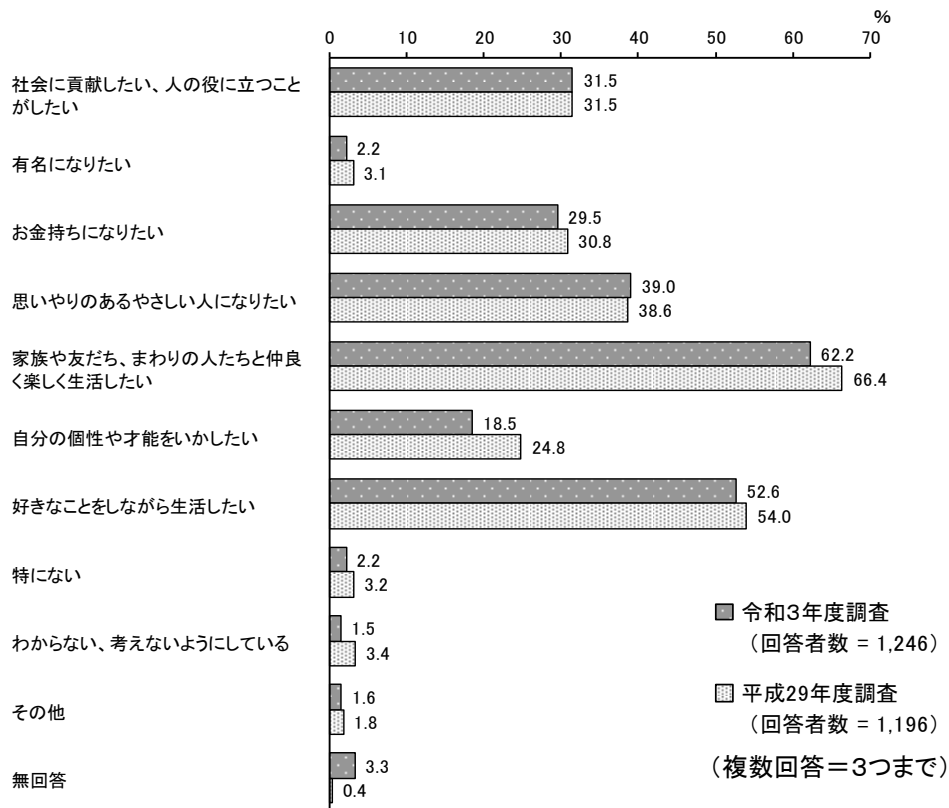
『自分の親（保護者）から愛されていると思う』で「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が高くなっています。また、『自分は役に立たないと強く感じる』で「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」をあわせた“あてはまらない”の割合が高くなっています。



**問 19 あなたは、どのような夢や生きがいをもっていますか。(3つまで○)**

「家族や友だち、まわりの人たちと仲良く楽しく生活したい」の割合が62.2%と最も高く、次いで「好きなことをしながら生活したい」の割合が52.6%、「思いやりのあるやさしい人になりたい」の割合が39.0%となっています。

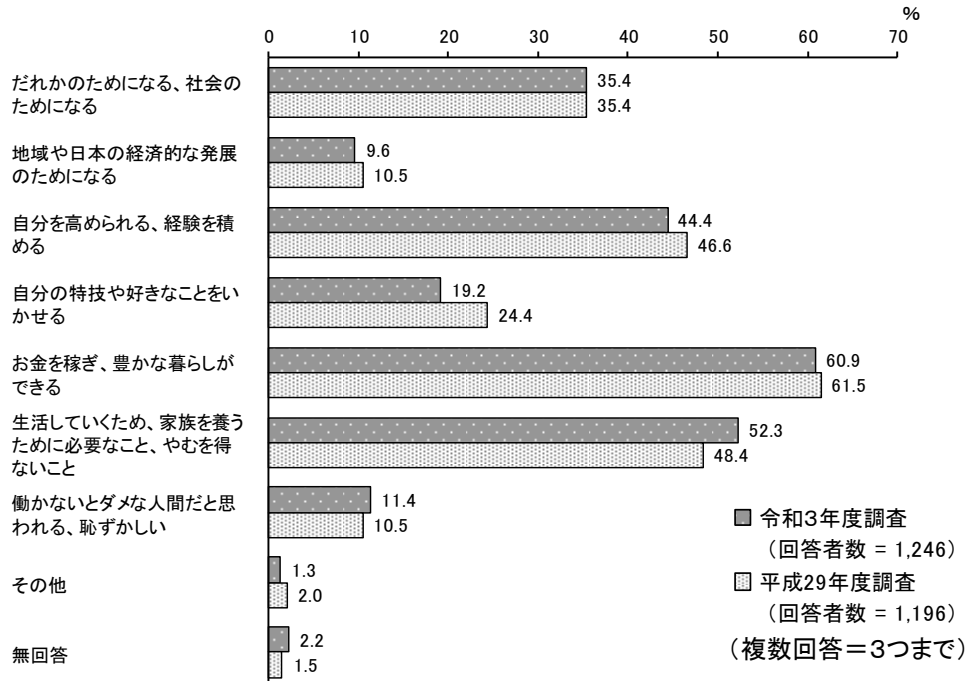
平成29年度調査と比較すると、「自分の個性や才能をいかしたい」の割合が減少しています。



**問 20 あなたは、働くことについてどのように思っていますか。(3つまで○)**

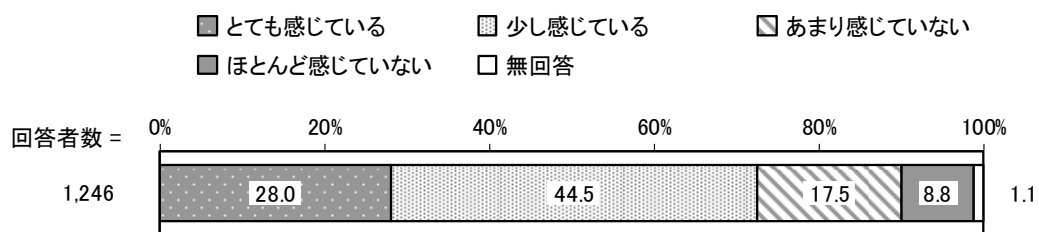
「お金を稼ぎ、豊かな暮らしができる」の割合が60.9%と最も高く、次いで「生活していくため、家族を養うために必要なこと、やむを得ないこと」の割合が52.3%、「自分を高められる、経験を積める」の割合が44.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「自分の特技や好きなことをいかせる」の割合が減少しています。



**問 21 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により閉塞感を感じていますか。  
(1つだけ○)**

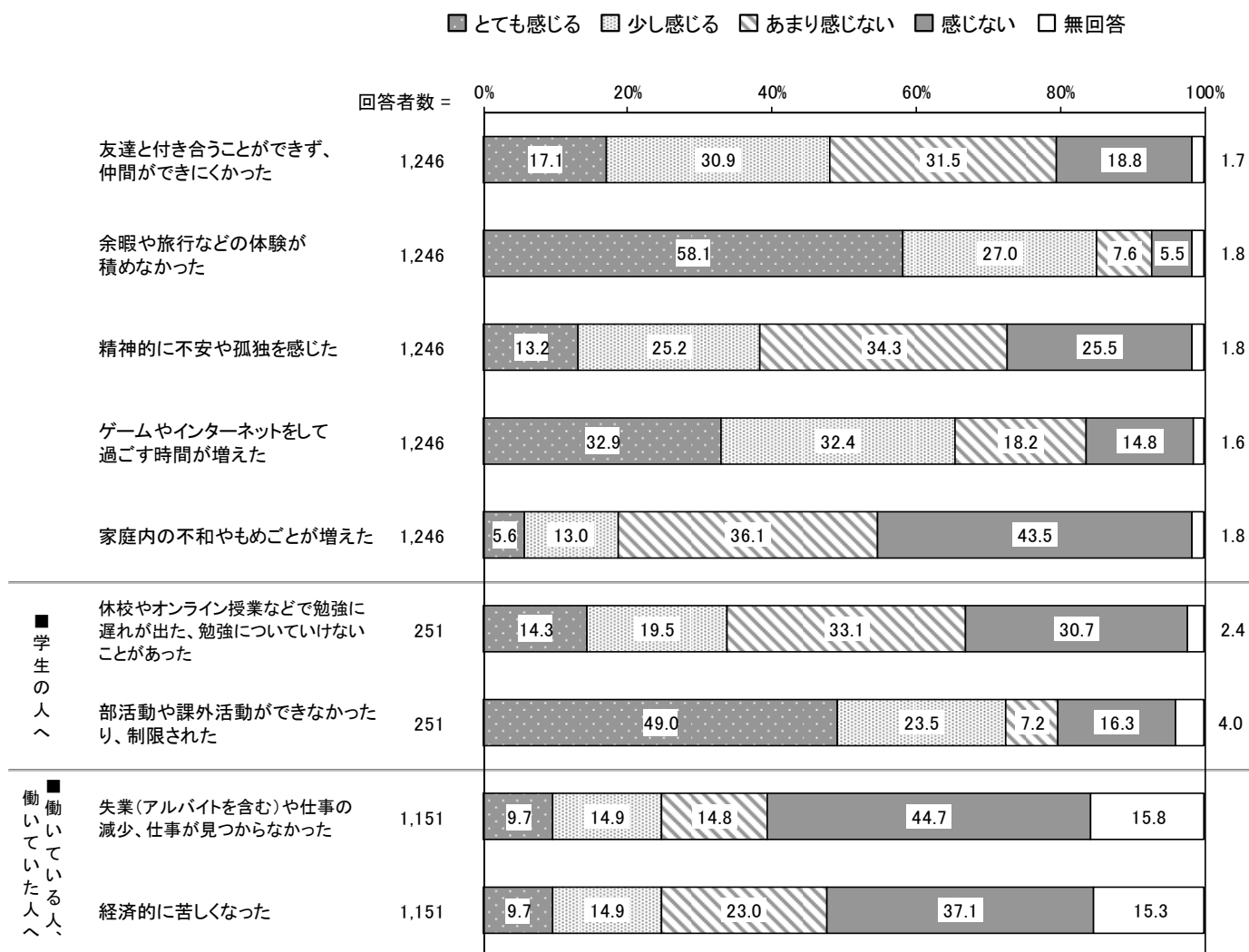
「とても感じている」と「少し感じている」をあわせた“感じている”の割合が72.5%、「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が26.3%となっています。



**問 22 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響があったと感じることはありますか。(それぞれについて1つだけ○)**

『余暇や旅行などの体験が積み重なった』で「とても感じる」と「少し感じる」をあわせた“感じる”の割合が高く、85.1%となっています。

一方、『家庭内の不和やもめごとが増えた』で「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が高く、79.6%となっています。



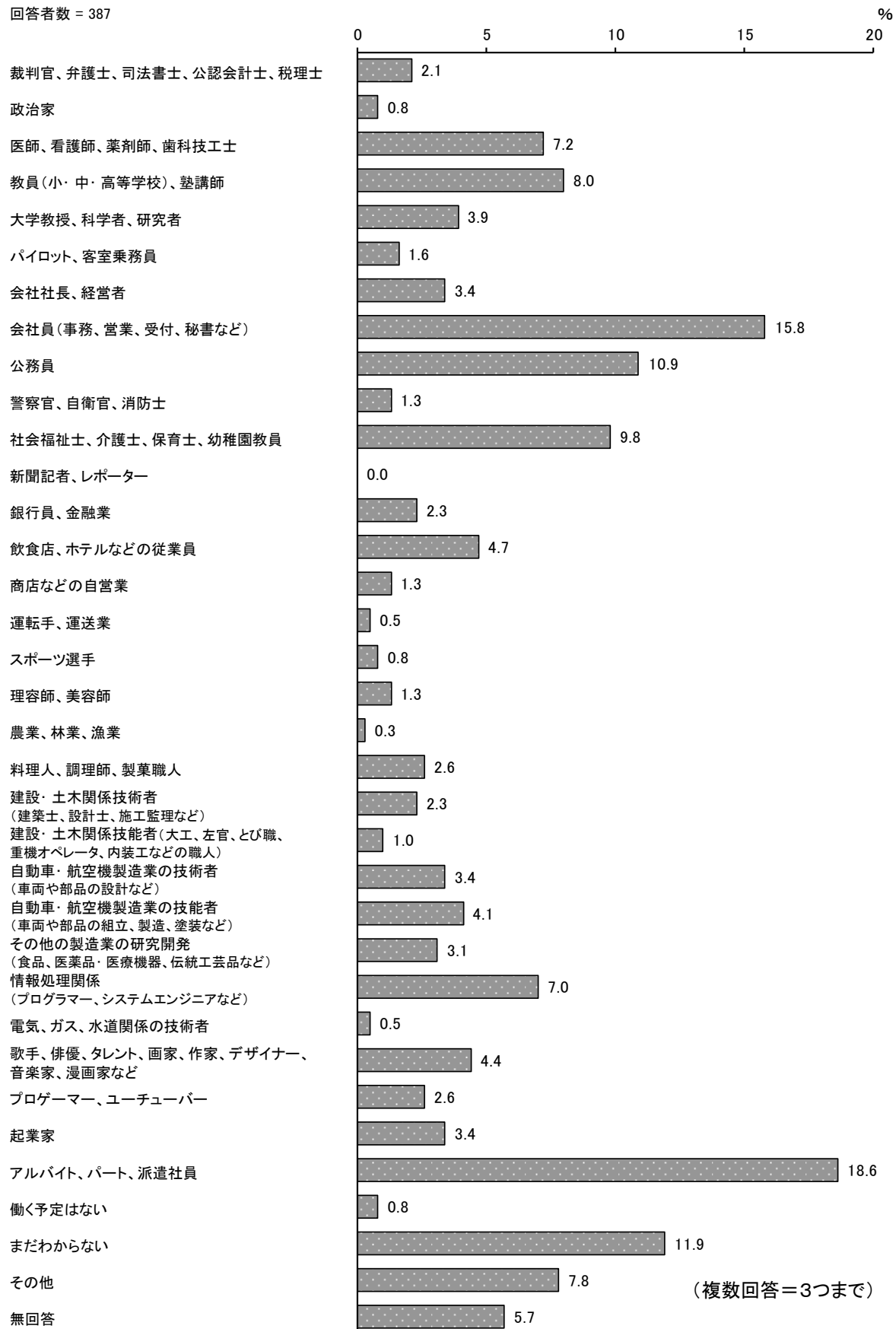


問 23 【学生の人と働いていないひとへ】

あなたは、将来どのような職業に就きたいと思っていますか。(3つまで○)

「アルバイト、パート、派遣社員」の割合が 18.6%と最も高く、次いで「会社員(事務、営業、受付、秘書など)」の割合が 15.8%、「まだわからない」の割合が 11.9%となっています。

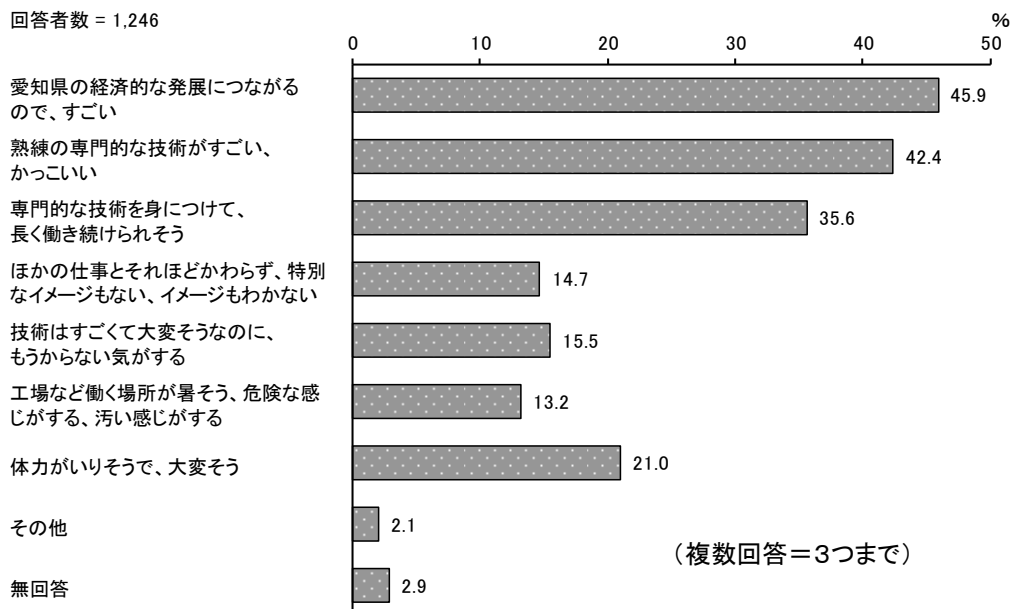
回答者数 = 387



(複数回答=3つまで)

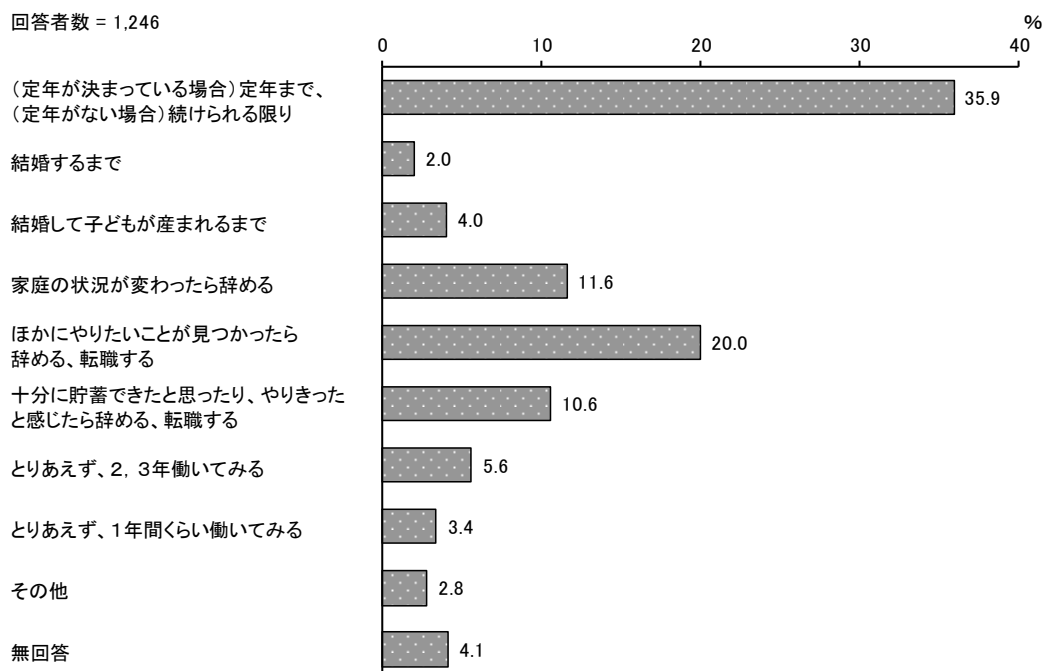
問 24 愛知県は「ものづくり」（問 23 の「23. 自動車・航空機製造業の技術者」「24. 自動車・航空機製造業の技能者」のような製造業）がとても盛んで、多くの人が働いています。あなたの「ものづくり」のイメージは、次のうちどれですか。（3つまで○）

「愛知県の経済的な発展につながるので、すごい」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「熟練の専門的な技術がすごい、カッコいい」の割合が 42.4%、「専門的な技術を身につけて、長く働き続けられそう」の割合が 35.6%となっています。



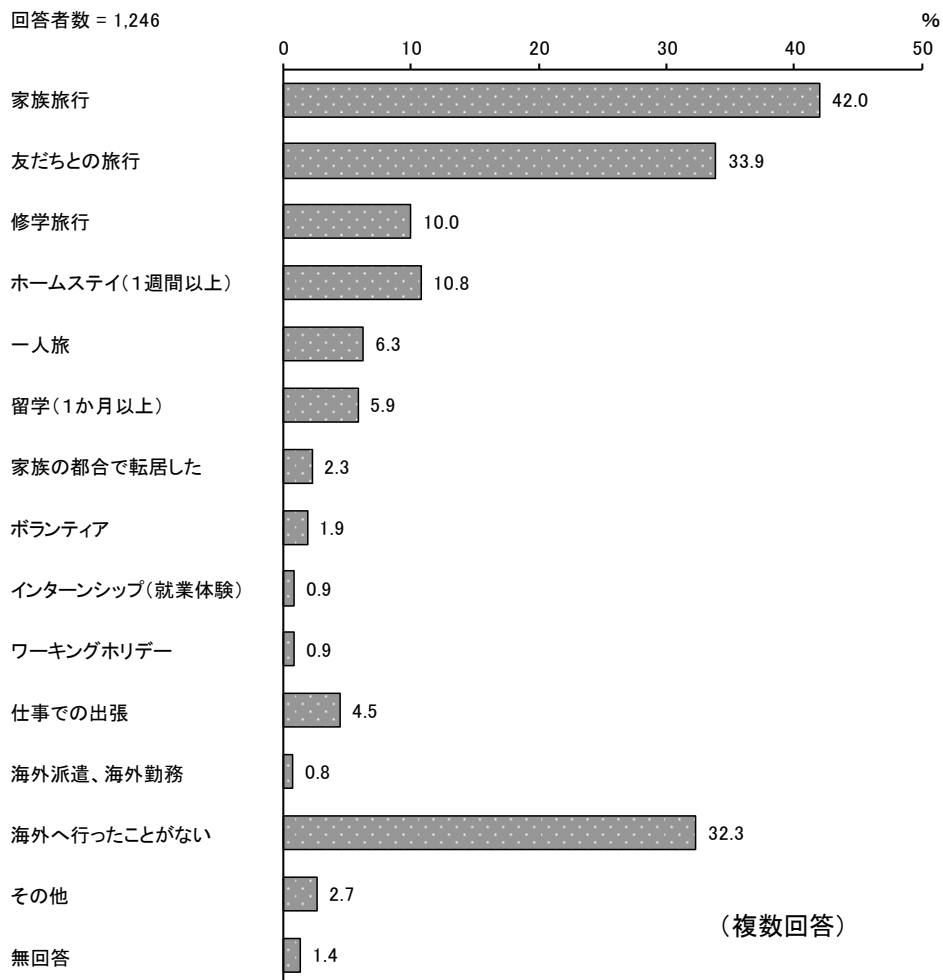
問 25 あなたは今の仕事を（これから働く予定の人は就職したら）いつまで続けたいと思いますか。（1つだけ○）

「(定年が決まっている場合) 定年まで、(定年がない場合) 続けられる限り」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「ほかにやりたいことが見つかったら辞める、転職する」の割合が 20.0%、「家庭の状況が変わったら辞める」の割合が 11.6%となっています。



問 26 あなたは、これまでに海外で次のことをしたことがありますか。  
(いくつでも○)

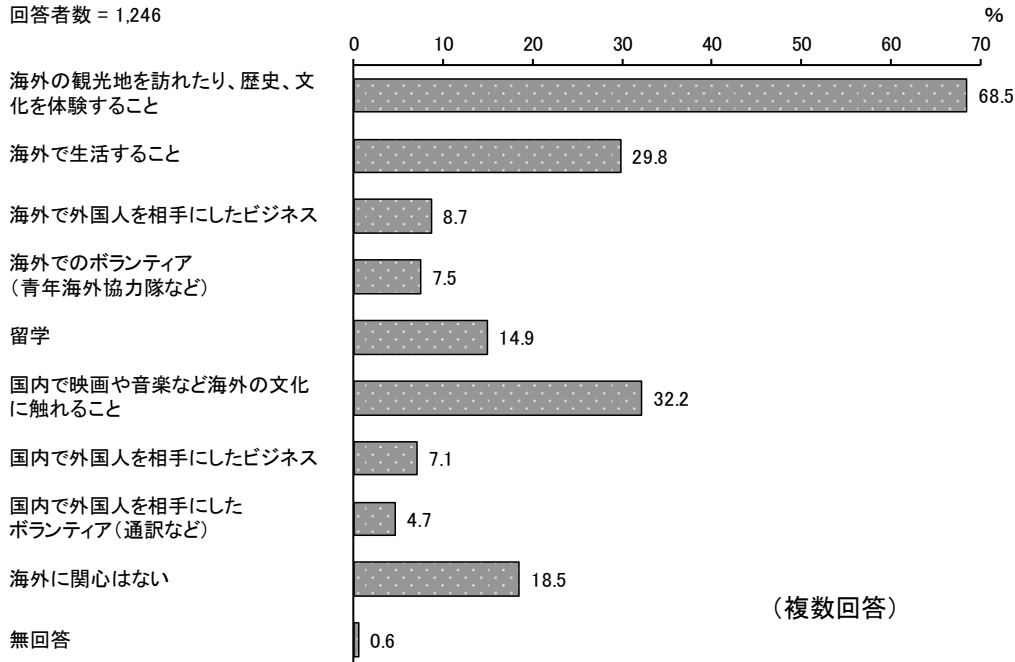
「家族旅行」の割合が42.0%と最も高く、次いで「友だちとの旅行」の割合が33.9%、「海外へ行ったことがない」の割合が32.3%となっています。



問 27 海外や異文化との関わり方について、関心があるものは何ですか。  
(いくつでも○)

「海外の観光地を訪れたり、歴史、文化を体験すること」の割合が68.5%と最も高く、次いで「国内で映画や音楽など海外の文化に触れること」の割合が32.2%、「海外で生活すること」の割合が29.8%となっています。

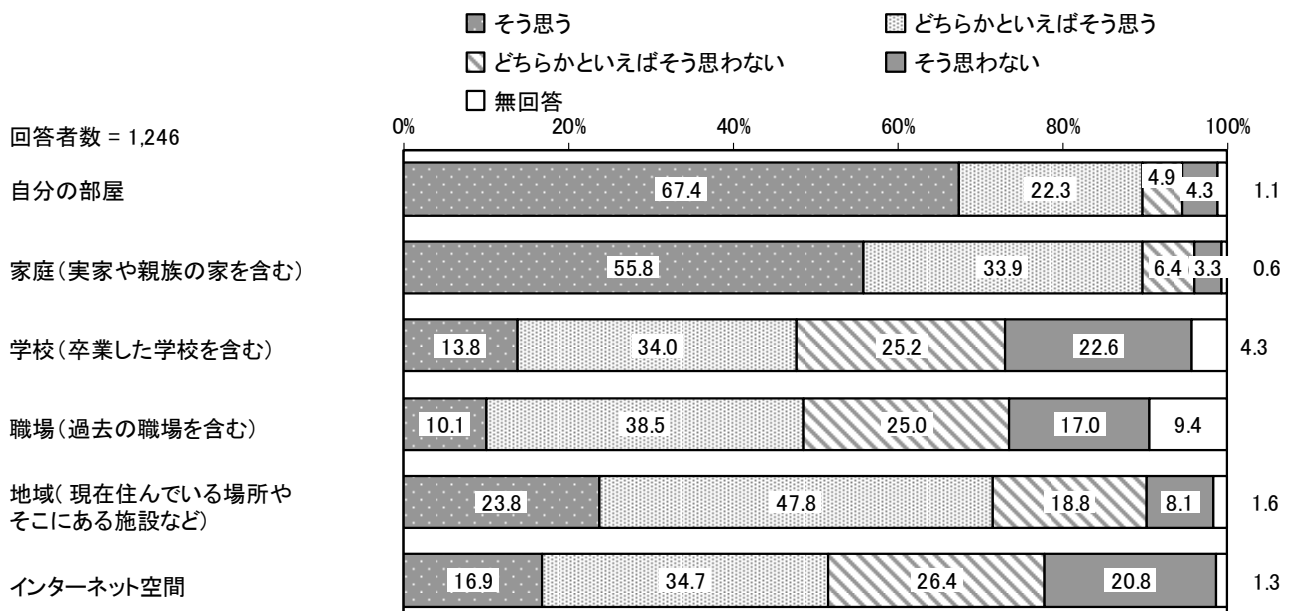
回答者数 = 1,246



(4) 居場所や人とのつながりについて

問 28 次の場所は、今のあなたにとって居場所 (ほっとできる場所、居心地のよい場所など) になっていますか。(それぞれについて1つだけ○)

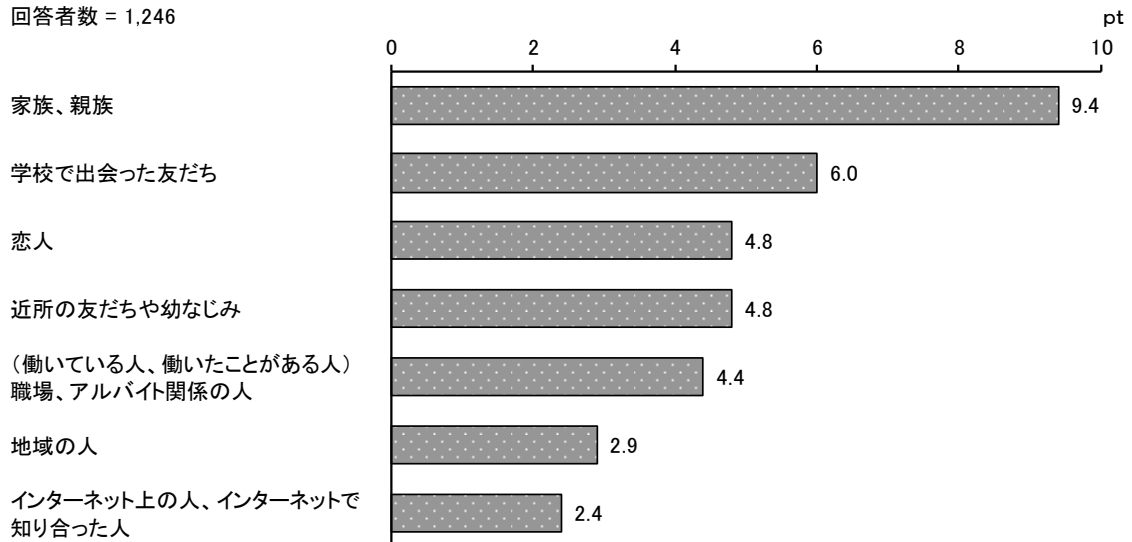
『自分の部屋』『家庭 (実家や親族の家を含む)』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『学校 (卒業した学校を含む)』『職場 (過去の職場を含む)』『インターネット空間』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高くなっています。



問 29 次の人たちはあなたにとってどのくらい身近に感じますか。つながっていると感じますか。もっとも身近に感じる、つながっていると感じる人から順に、1, 2, 3…と番号をつけてください。

「家族、親族」が9.4ポイントと最も高く、次いで「学校で出会った友だち」が6.0ポイント、「恋人」「近所の友だちや幼なじみ」が4.8ポイントとなっています。

回答者数 = 1,246



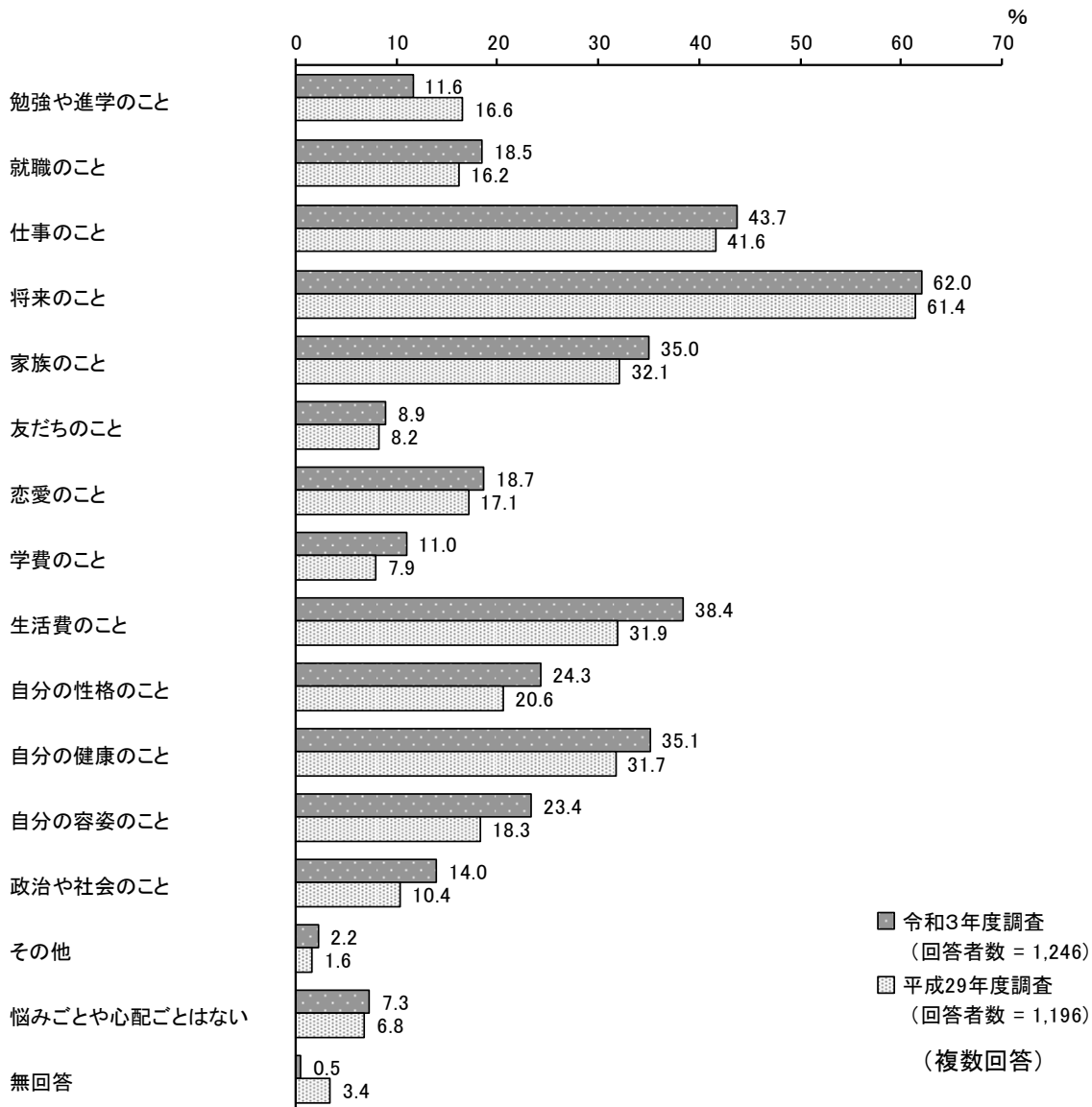
※回答者は、身近に感じる順に1から7までの番号を記入。集計では1位7点、2位6点…7位1点として項目毎に積算し、最高点数1,246人 x 7点 = 8,722点で割って指数化し、さらに10を乗じて最高10ポイントとした。

例：「家族、親戚」 =  $10 * ((1 \text{位 } 1,017 \text{人} * 7 \text{点} + 2 \text{位 } 114 \text{人} * 6 \text{点} + 3 \text{位 } 50 \text{人} * 5 \text{点} + 4 \text{位 } 19 \text{人} * 4 \text{点} + 5 \text{位 } 14 \text{人} * 3 \text{点} + 6 \text{位 } 9 \text{人} * 2 \text{点} + 7 \text{位 } 5 \text{人} * 1 \text{点}) / (1,246 \text{人} * 7 \text{点}) = 9.4 \text{pt}$

問 30 あなたには悩みごとや心配ごとがありますか。(いくつでも○)

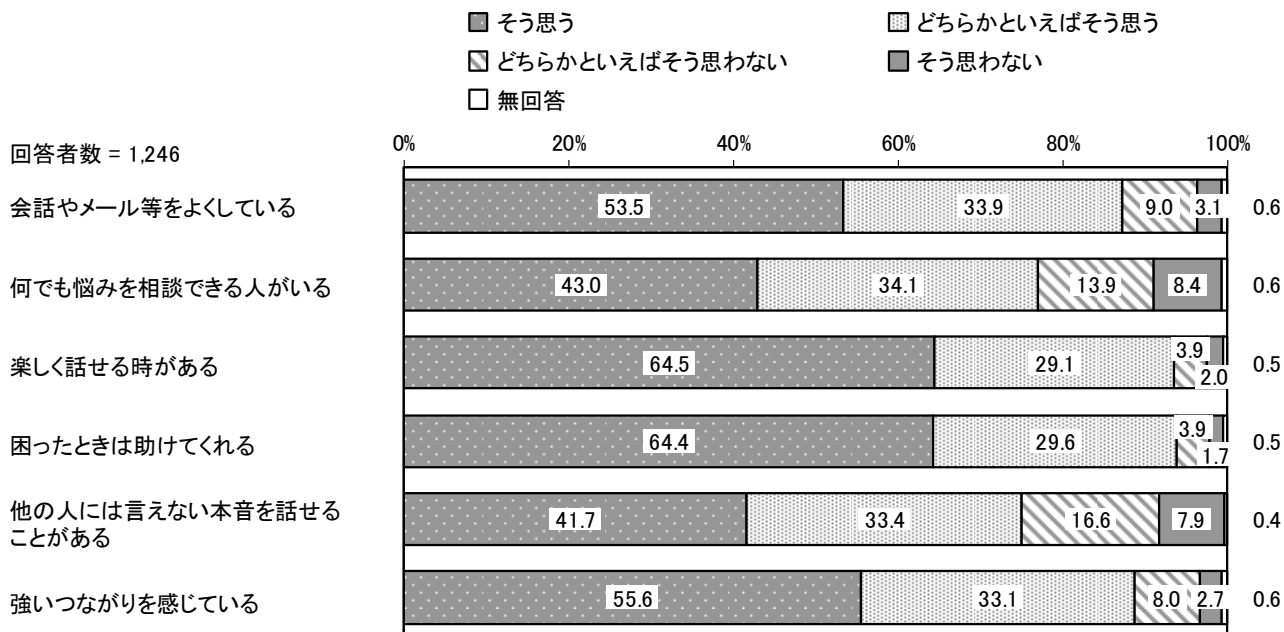
「将来のこと」の割合が62.0%と最も高く、次いで「仕事のこと」の割合が43.7%、「生活費のこと」の割合が38.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「生活費のこと」「自分の容姿のこと」の割合が増加しています。一方、「勉強や進学のこと」の割合が減少しています。



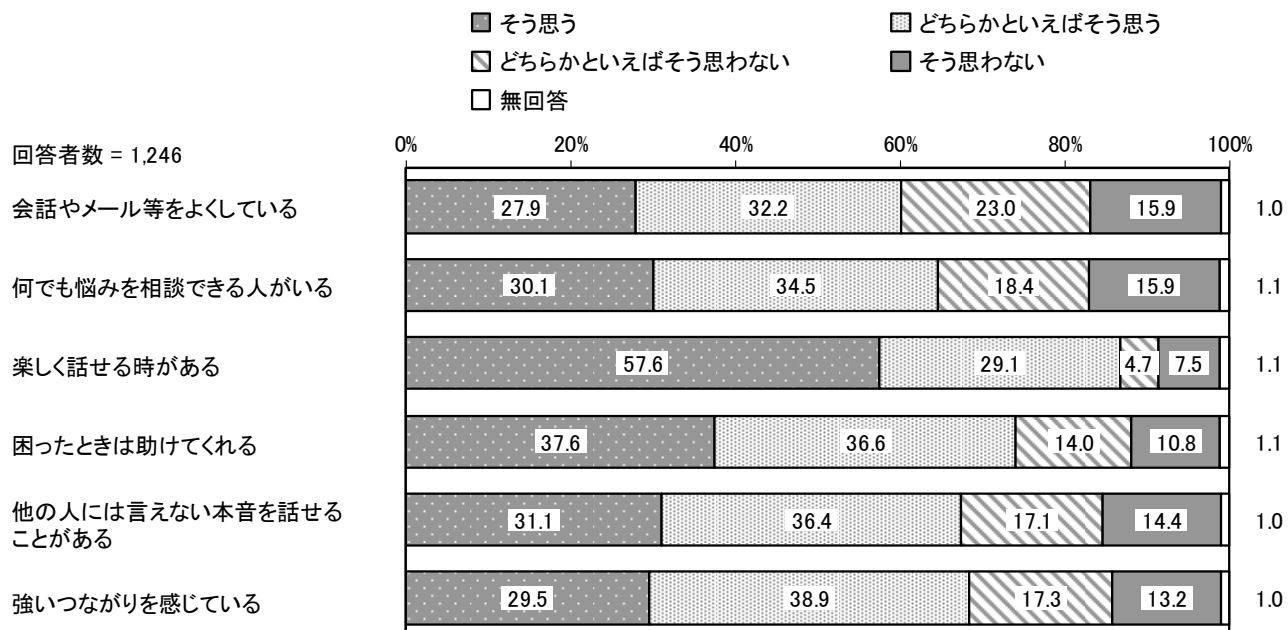
**問 31 家族・親族とあなたのかかわりはどのようなものですか。**  
(それぞれについて1つだけ○)

『楽しく話せる時がある』『困ったときは助けてくれる』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『何でも悩みを相談できる人がいる』『他の人には言えない本音を話せることがある』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が高くなっています。



**問 32 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同級生など）とあなたのかかわりはどのようなものですか。**  
(それぞれについて1つだけ○)

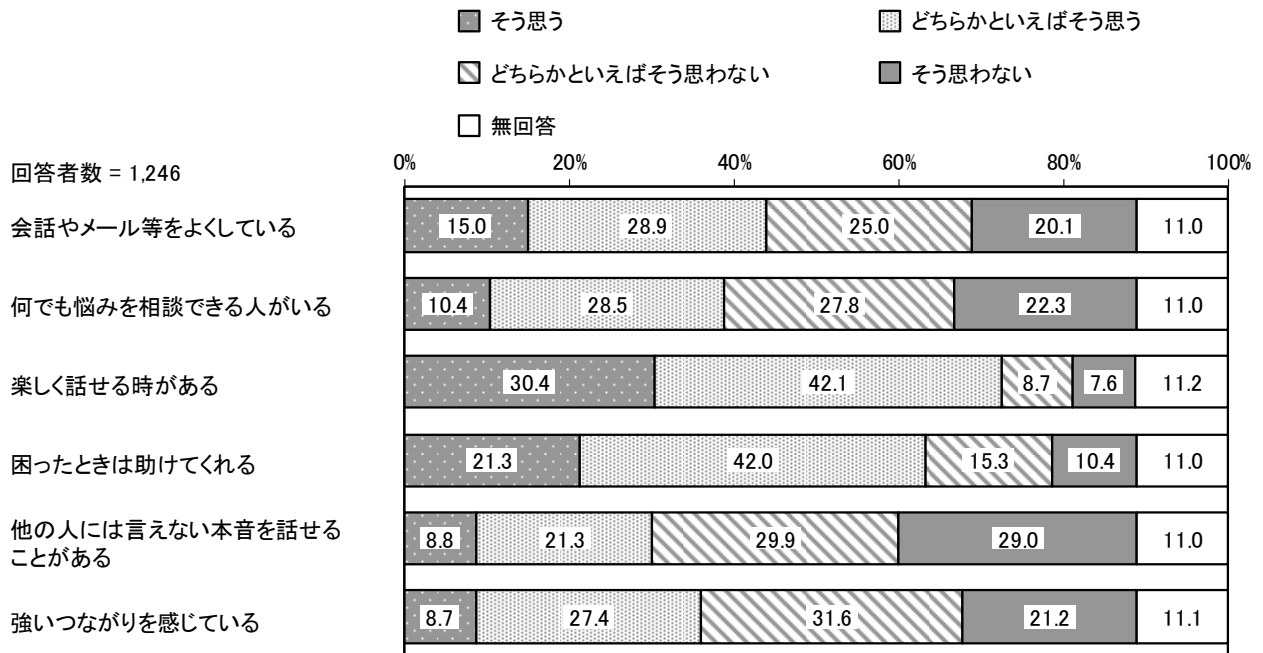
『楽しく話せる時がある』『困ったときは助けてくれる』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。



問 33 【働いている人、働いていた人へ】

職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事  
の関係で知り合った人など）とあなたのかかわりはどのようなものですか。  
（それぞれについて1つだけ○）

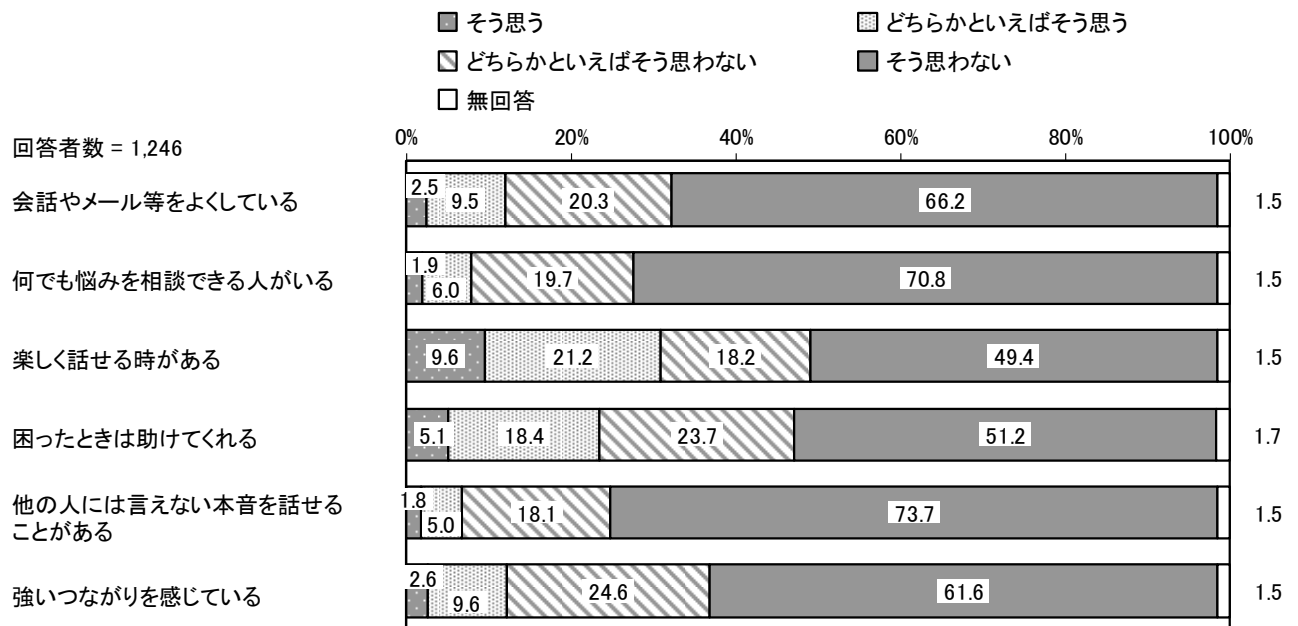
『楽しく話せる時がある』『困ったときは助けてくれる』で「そう思う」と「どちらかといえば  
そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『他の人には言えない本音  
を話せることがある』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そ  
う思わない”の割合が高くなっています。





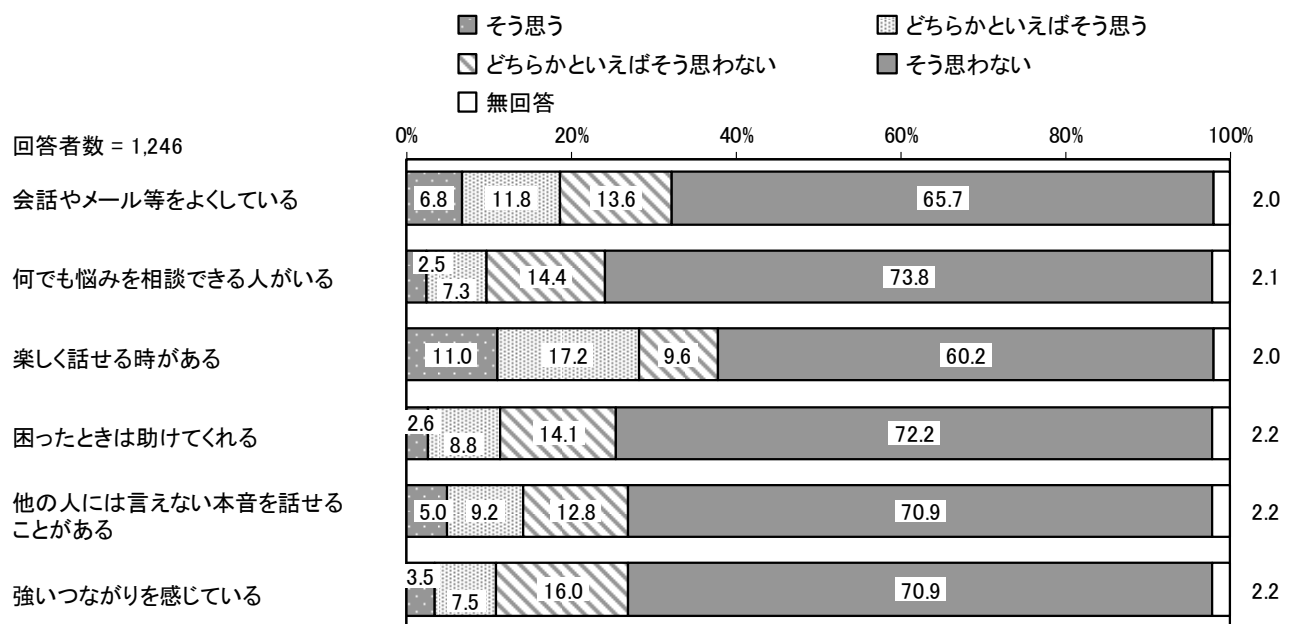
**問 34 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（それぞれについて1つだけ○）**

『楽しく話せる時がある』『困ったときは助けてくれる』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『何でも悩みを相談できる人がある』『他の人には言えない本音話せることがある』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高くなっています。



**問 35 インターネット上における人やコミュニティ（具体的には面識がない、あるいは数回会ったことがあるが、基本的にはネット中心の付き合いの人）とあなたのかかわりはどのようなものですか。（それぞれについて1つだけ○）**

『会話やメール等をよくしている』『楽しく話せる時がある』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。

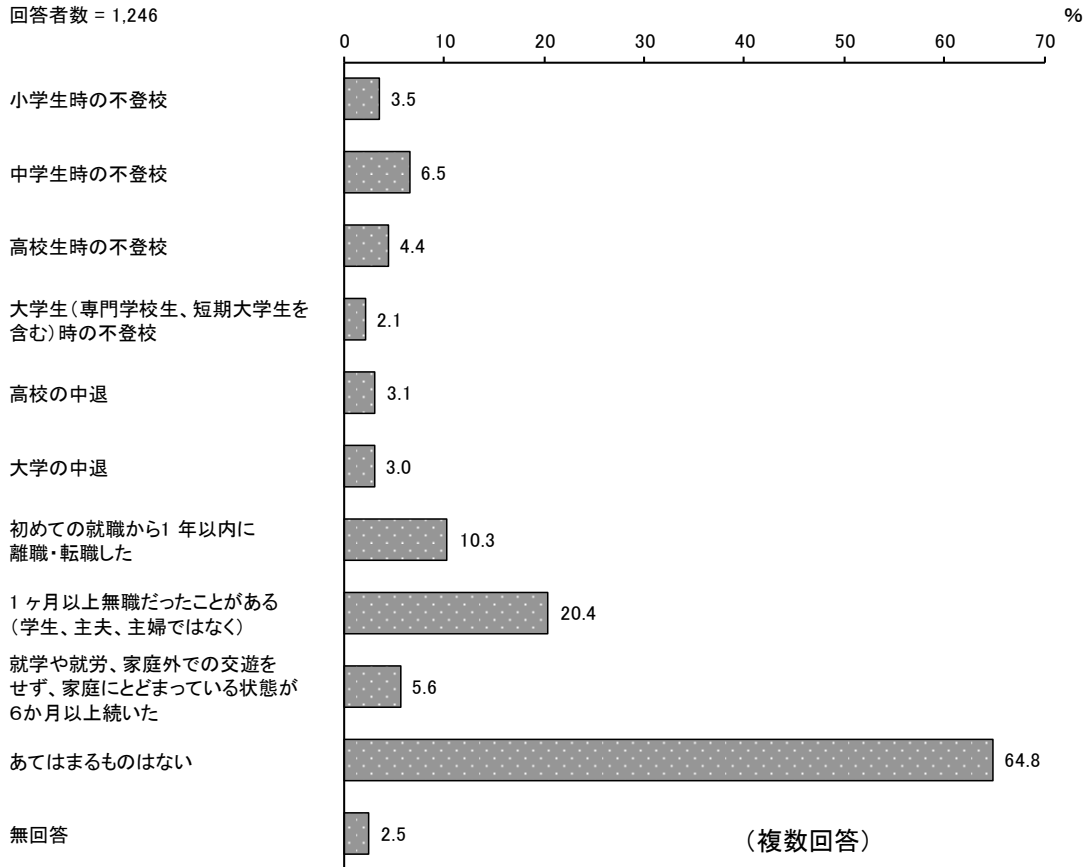


## (5) 子ども・若者を対象とした支援について

### 問 36 これまでに次のような経験をしたことがありますか。(いくつでも○)

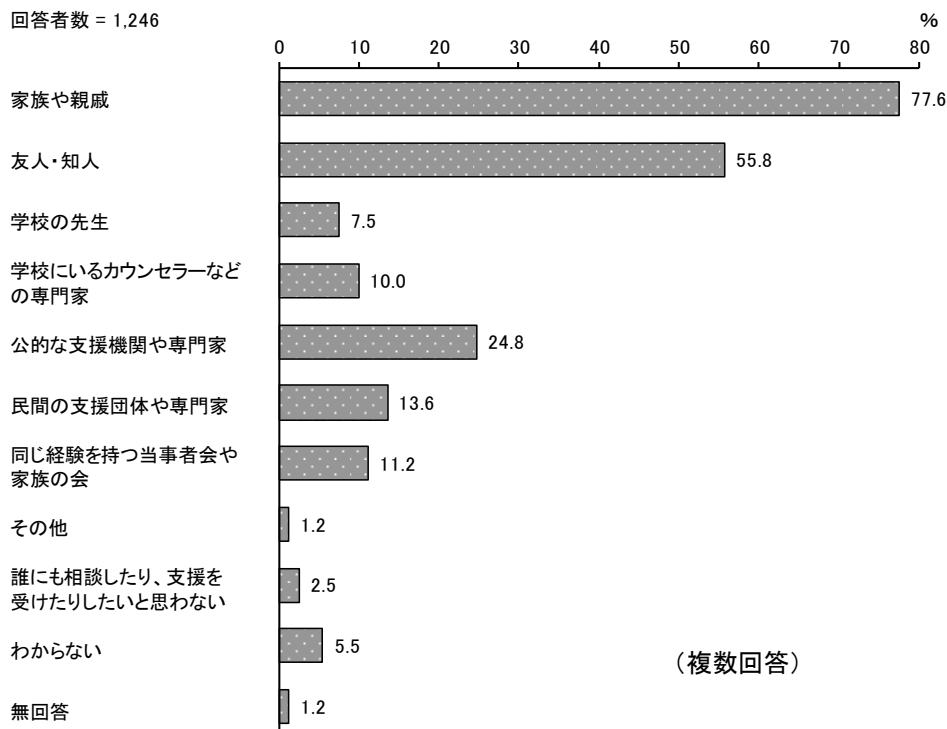
「あてはまるものはない」を除くと、「1ヶ月以上無職だったことがある(学生、主夫、主婦ではなく)」の割合が20.4%と最も高く、次いで「初めての就職から1年以内に離職・転職した」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 1,246



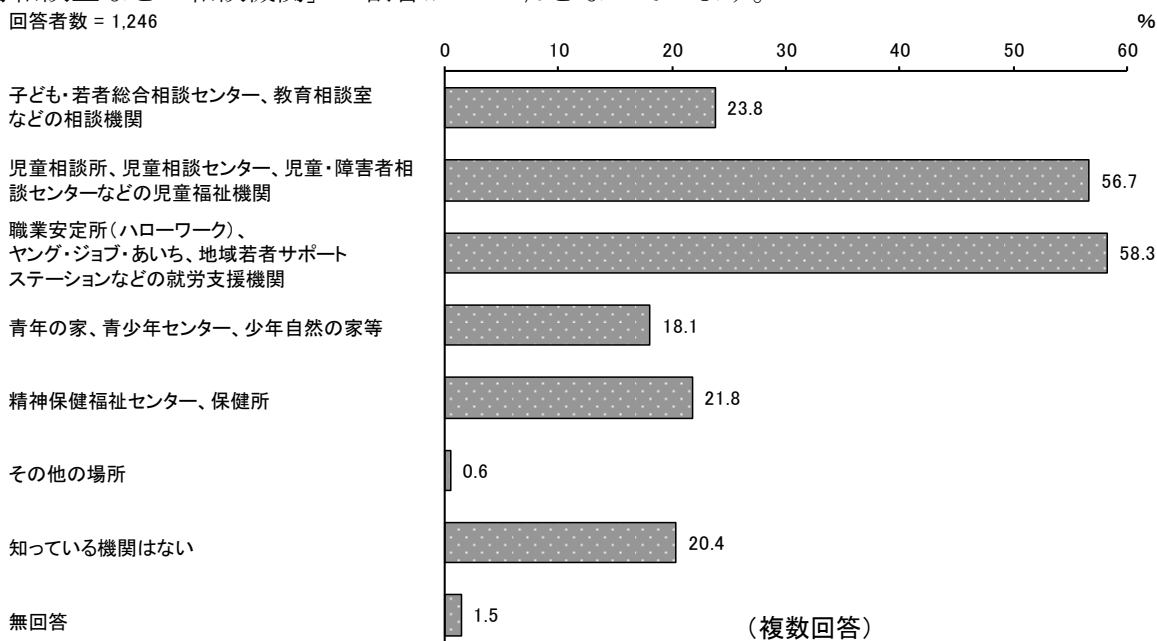
問 37 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができないようなときに、どのような機関や人なら、相談したり、支援を受けたりしやすいと感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも○)

「家族や親戚」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 55.8%、「公的な支援機関や専門家」の割合が 24.8%となっています。



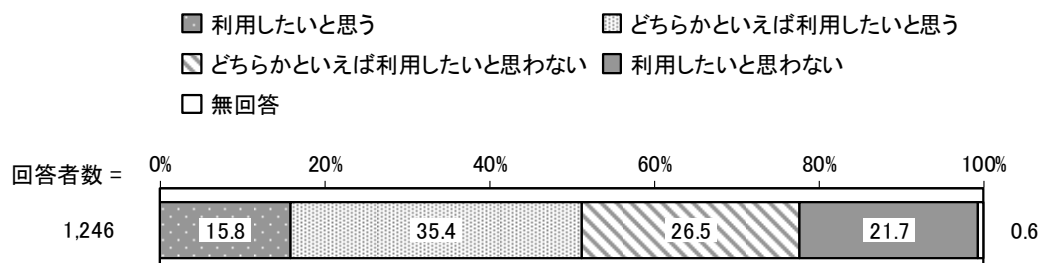
問 38 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等（困ったときに相談に乗ってくれたり、助けてくれたり助けてもらえるところ）を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(いくつでも○)

「職業安定所（ハローワーク）、ヤング・ジョブ・あいち、地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「児童相談所、児童相談センター、児童・障害者相談センターなどの児童福祉機関」の割合が 56.7%、「子ども・若者総合相談センター、教育相談室などの相談機関」の割合が 23.8%となっています。



問 39 一人では解決が難しいような困りごとや悩みごとがあるときに、公共の相談機関などを利用したいと思いますか。（1つだけ○）

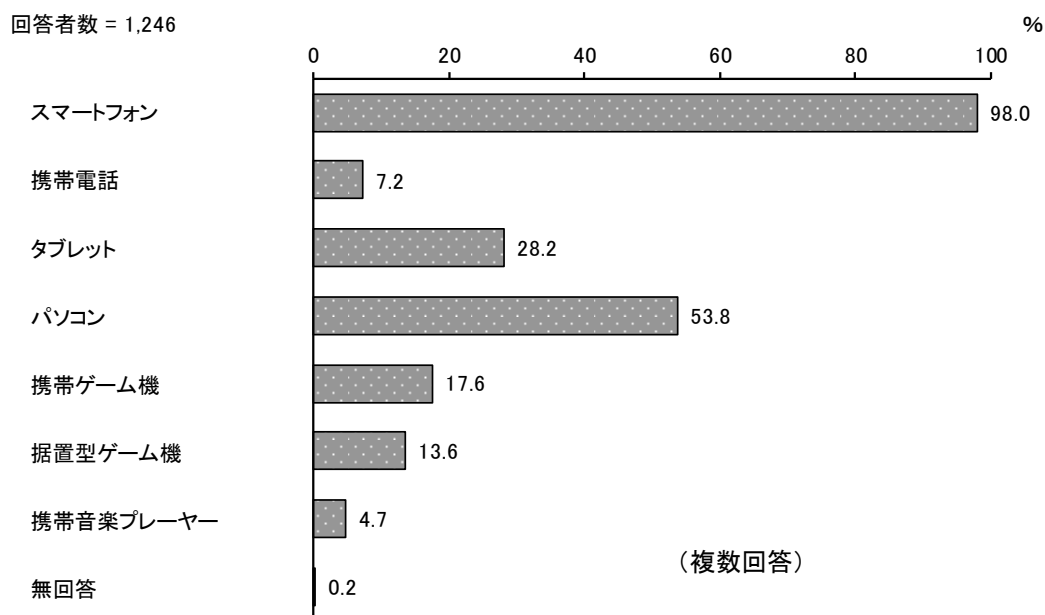
「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」をあわせた“利用したいと思う”の割合が 51.2%、「どちらかといえば利用したいと思わない」と「利用したいと思わない」をあわせた“利用したいと思わない”の割合が 48.2%となっています。



(6) インターネットの利用について

問 40 次の中であなたがインターネットの利用に使用している機器はどれですか。（いくつでも○）

「スマートフォン」の割合が 98.0%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が 53.8%、「タブレット」の割合が 28.2%となっています。

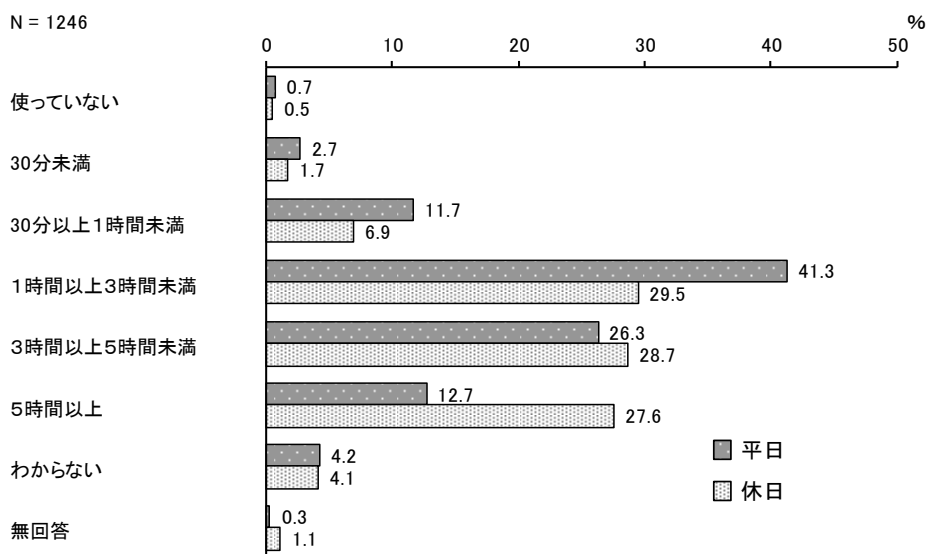


問 41 学校・仕事以外でのインターネット（メールのやりとりを含む）の利用時間はどのくらいですか。（それぞれについて1つだけ○）

平日では、「1時間以上3時間未満」の割合が41.3%と最も高く、次いで「3時間以上5時間未満」の割合が26.3%、「5時間以上」の割合が12.7%となっています。

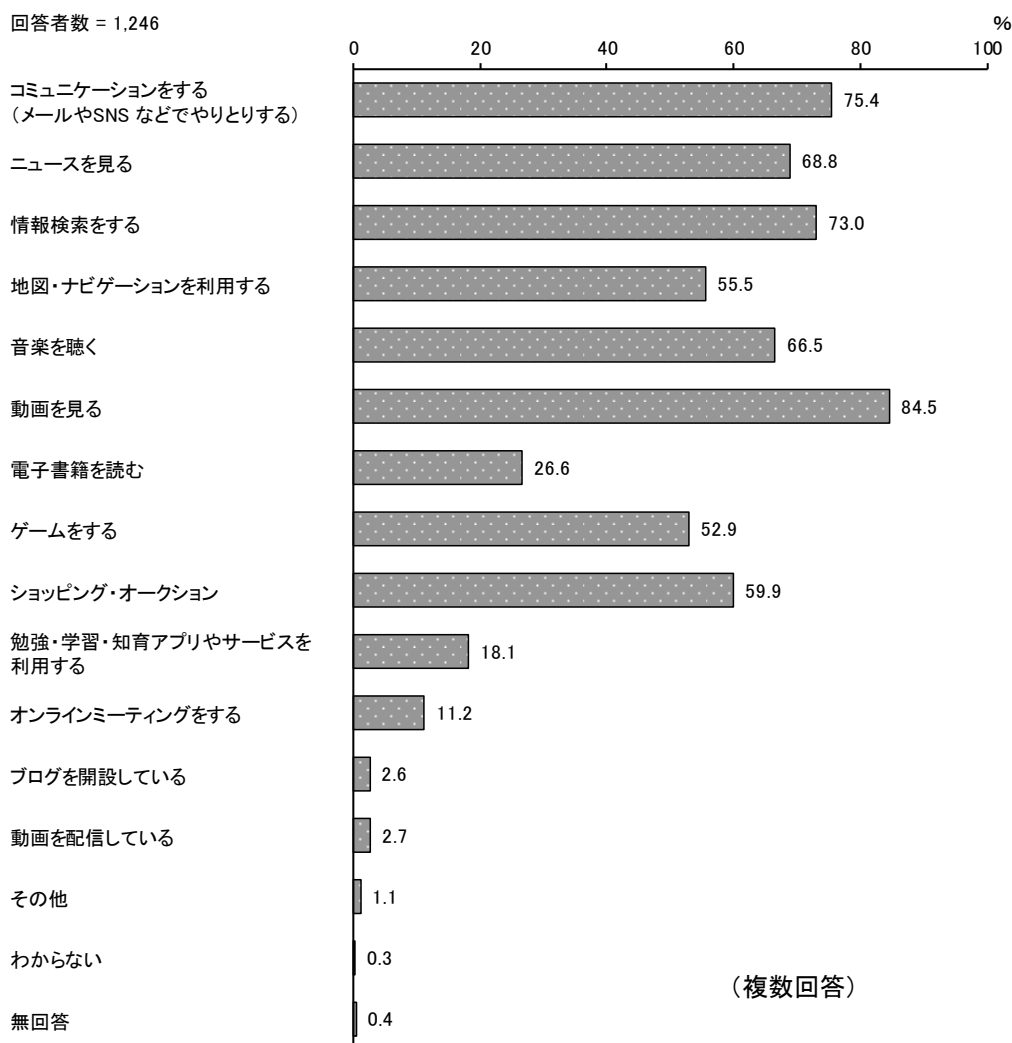
休日では、「1時間以上3時間未満」の割合が29.5%と最も高く、次いで「3時間以上5時間未満」の割合が28.7%、「5時間以上」の割合が27.6%となっています。

平日と休日の利用時間を比較すると、休日に比べ平日で「1時間以上3時間未満」の割合が高く、平日に比べ休日で「5時間以上」の割合が高くなっています。



**問 42 あなたはインターネットを利用して何をしていますか。(いくつでも○)**

「動画を見る」の割合が84.5%と最も高く、次いで「コミュニケーションをする(メールやSNSなどでやりとりする)」の割合が75.4%、「情報検索をする」の割合が73.0%となっています。

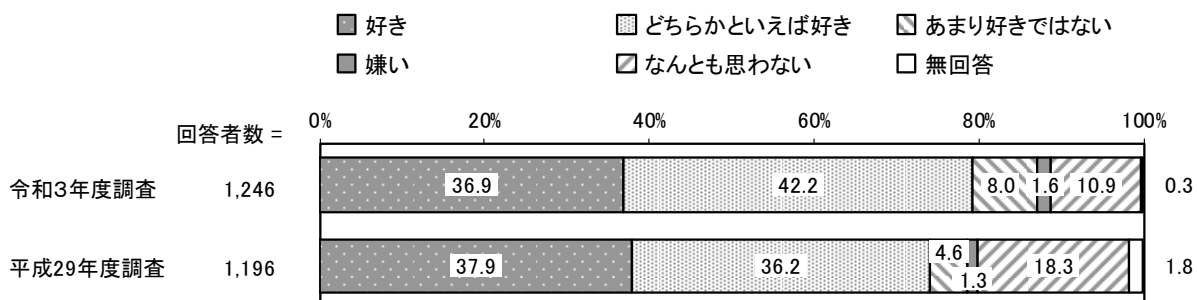


**(7) 地域のことやボランティア活動について**

**問 43 あなたは今住んでいる地域が好きですか。(1つだけ○)**

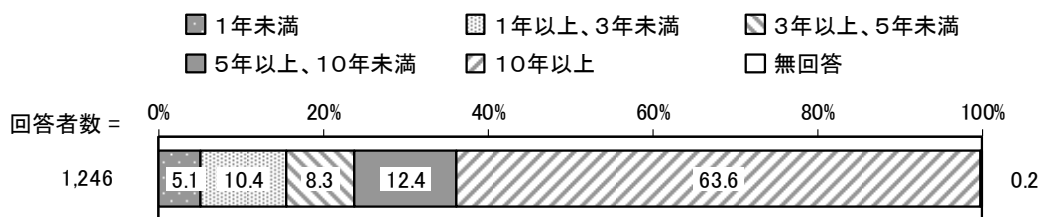
「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が79.1%、「あまり好きではない」と「嫌い」をあわせた“好きではない”の割合が9.6%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「どちらかといえば好き」の割合が増加しています。一方、「なんとも思わない」の割合が減少しています。



**問 44 あなたは今の地域にどれくらい住んでいますか。(1つだけ○)**

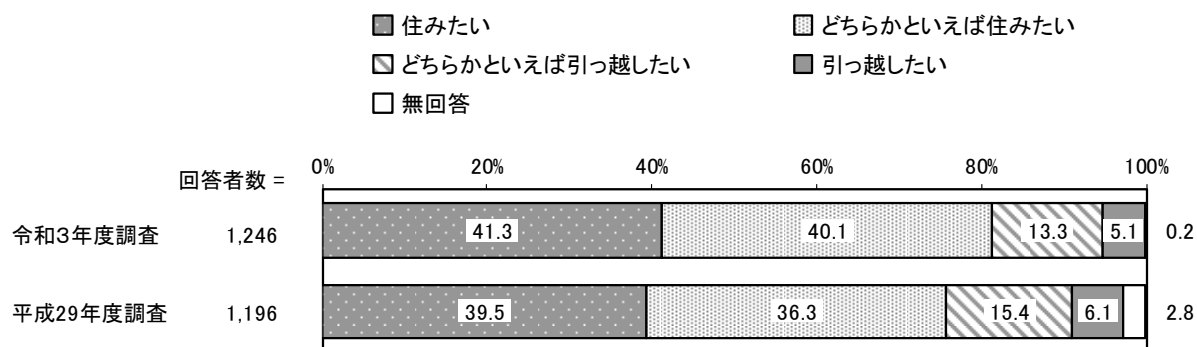
「10年以上」の割合が63.6%と最も高く、次いで「5年以上、10年未満」の割合が12.4%、「1年以上、3年未満」の割合が10.4%となっています。



**問 45 あなたは今住んでいる地域にこれからも住みたいですか。(1つだけ○)**

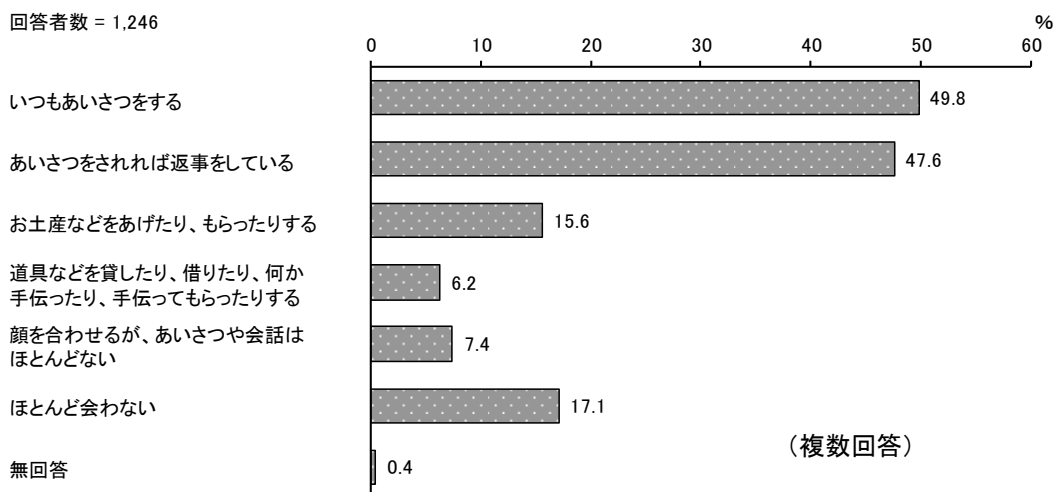
「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」をあわせた“住みたい”の割合が81.4%、「どちらかといえば引っ越したい」と「引っ越したい」をあわせた“引っ越したい”の割合が18.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、“住みたい”の割合が増加しています。



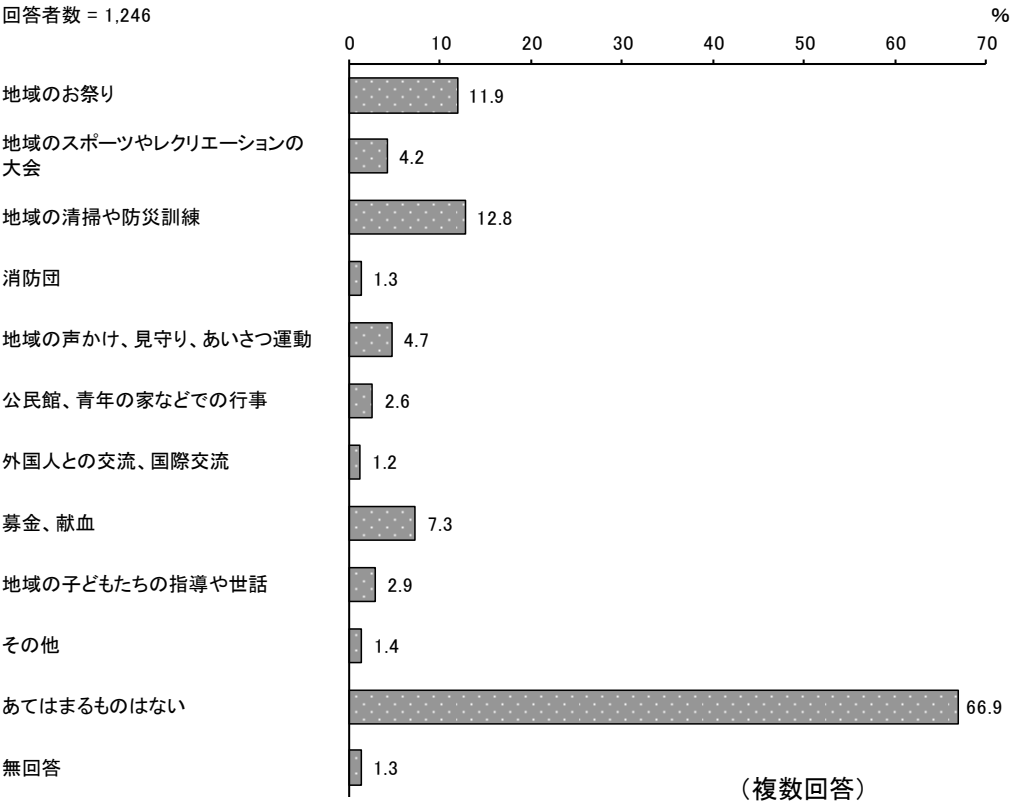
**問 46 あなたと近所の人について、次のようなことはありますか。(いくつでも○)**

「いつもあいさつをする」の割合が49.8%と最も高く、次いで「あいさつをされれば返事をしている」の割合が47.6%、「ほとんど会わない」の割合が17.1%となっています。



**問 47 あなたは最近 1 年間で、次のようなことに参加したり、行動したことがありますか。  
(いくつでも○)**

「あてはまるものはない」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「地域の清掃や防災訓練」の割合が 12.8%、「地域のお祭り」の割合が 11.9%となっています。

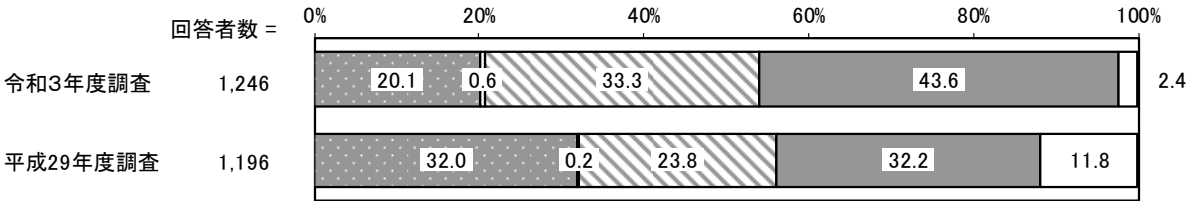


**問 48 あなたは問 47 のような活動を、これから先、どのように考えていますか。**

「やってみたいと思わない」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「今はやっていないが、いつかやってみたいと思う」の割合が 33.3%、「これからも続けたい、今やっていないこともやってみたい」の割合が 20.1%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、「今はやっていないが、いつかやってみたいと思う」「やってみたいと思わない」の割合が増加しています。一方、「これからも続けたい、今やっていないこともやってみたい」の割合が減少しています。

- これからも続けたい、今やっていないこともやってみたい
- ▨ 自分がリーダーとなって活動したい
- ▩ 今はやっていないが、いつかやってみたいと思う
- やってみたいと思わない
- 無回答



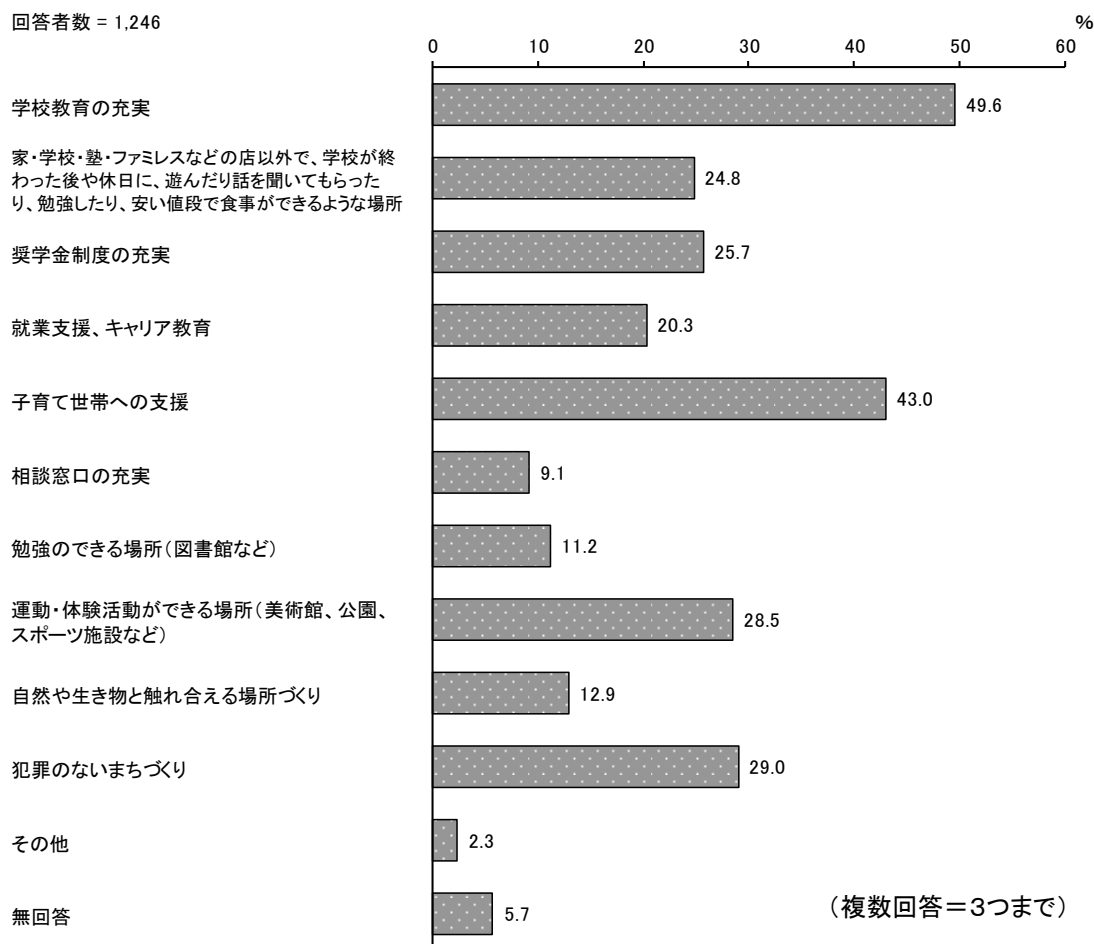


## (8) 社会全般のことについて

問 49 子ども、若者が成長していくために、特に必要だと思うもの、大切だと思うものはどれですか。(3つまで○)

「学校教育の充実」の割合が49.6%と最も高く、次いで「子育て世帯への支援」の割合が43.0%、「犯罪のないまちづくり」の割合が29.0%となっています。

回答者数 = 1,246



### Ⅲ 自由意見・参考意見等

分類回答	件数
1 教育	31 件
2 仕事・経済	27 件
3 障害者支援	3 件
4 少子化対策	3 件
5 子育て支援	34 件
6 交流の場	21 件
7 地域開発	79 件
8 観光	3 件
9 交通	41 件
10 政治・行政	20 件
11 その他	68 件
回答者数	330 件

## 【分類別の主な意見（一部抜粋）】

### 1 教育

- ・ 給食費の無料化。
- ・ 教育費を無償化してほしい。
- ・ 校則が厳しいので緩くしてほしい。
- ・ 青年、学生が生き生きできる活動がほしい。
- ・ 将来のために環境保護や子どもの成長に力をいれてほしいです。
- ・ 日常会話できる人が少なすぎる。英語に強い県にしていくべき。差別化が必要。
- ・ 住んでいる地域に、もっと自主学習できる施設ができたらいいなと思っています。
- ・ 英語が今後大切なので、子供が特に。無料で受けられる英語教室があればいいと思う。
- ・ 不登校になる子が増えている気がする。そういう子たちを支援できる施設の充実を望みます。
- ・ これからの日本を支えていく子どもたちの教育を充実させてほしいです。義務教育では、1学級あたりの人数を減らし、教員の目が行き届く環境を整えて頂きたい。

### 2 仕事・経済

- ・ ブラック企業が怖いです。虐待も怖いです。
- ・ 高卒、大卒、専卒で給与の差をつける文化が時代に合っていない。
- ・ 経済力や地理的な面で、他の地域よりも恵まれているということは、再確認すべき。
- ・ 名古屋市は大都市ながら歴史と文化が受け継がれているよい街が多いと思う。中京工業地帯として日本のモノづくりの中枢にあり、経済が他地域より発展していると感じる。
- ・ コロナ禍で派遣切りに遭い、仕事を探したが、自分に合った求人がなかった。自分が住んでいる地域の求人が無い。
- ・ 子供が安心して遊べる環境づくり、街の中にある公園はどれも同じような仕様、もっと地域の特性を出した公園をつくることにより、行動範囲が広がり街の活性化に繋がる。
- ・ 専業主婦からの再就職が難しい。もっと時間に融通のきく仕事がたくさんあると良い。病児保育も増えて欲しい。全国開催のイベントがとばされることがよくある。

### 3 障害者支援

- ・ 障害者の人がもっと働きやすい環境をつくってほしい。障害者の家族への支援をもっとすべき。メンタル面でのサポートなど。若者が政治について知ることができる機会を増やした方がよいと思う。
- ・ 労働力はどんどん下落していくので外国人労働者や障害者雇用の就労支援を官民協力すること。言葉や体が不自由でもできる仕事はたくさんある。介護や技術職、IT関係など。障害者雇用は法定採用率などあるけど特に中小企業ほどメリットがないのでやりません。このへんを市や県が「企業努力」していかないと動いてもらうかが、地域の発展につながるのかと思います。
- ・ 障害のリハビリのための療育施設、療育センターの充実、親子の会など母子で気軽に参加できる場がもっと情報公開されて増えれば有難いなと思います。

## 4 少子化対策

- ・ 大きな企業でも残業をしなければ暮らしていけない。少子化へ進んでいる。一馬力でも豊かに暮らしていける地域になってほしい。
- ・ 子供が病気になった時の預け先がない。子供の病気＝親の欠勤に直につながる事による、親の働きにくさの解消がいつまでも進まない。少子化という割に全然楽になったと思うほどの手当や制度が進んだとは感じない。
- ・ 地域の高齢化が進んでおり、区会等の役員を免除してほしいと申し出る方がいる（高齢者）。気持ちわかるが子育て世代に負荷をかけるのは、いかななものかと思う（地域のお祭りや行事は、「今まで通り」やってほしいという意見もある）。
- ・ 大変申し訳ないが、高齢者中心でなく、子どもたちに手厚いサポートが欲しい。育児への補助金、教育費無償化（大学まで）、習い事手当等。

## 5 子育て支援

- ・ 子育てし辛い街だと思う。
- ・ 子育て支援を充分にしてほしい。
- ・ 子どもを産みたくなる県にしてほしい。
- ・ 子育て支援金をもう少し充実してほしい。
- ・ 家から近く通わせやすい保育園を増やしてほしいです。
- ・ 子供手当や高校授業料については、所得制限を設けないで欲しい。
- ・ 親へではなく子供に直接届く支援を考えてほしい、搾取されるだけだとおもう。
- ・ 子どもが運動できる場所が減っているように感じるので、改善していただきたいです。
- ・ 小児科病院の休みが重なっていたり、午後からの診察がなかったりすることで、子どもが不調の時にどこに頼ればいいのか不安になることがある。（救急でかかっても専門医がいるわけではないので）
- ・ 育休中に3歳以下の子どもを保育園に預けられないことは、2人以上の育児をする上で大変だった。育休中でも必要に応じて保育園に預けられるとよい。
- ・ 子育て支援の充実・産休・育休の取りやすさ（男性も）。愛知の大企業から率先して休みを取れる制度を作る。
- ・ 保育園などで待機児童問題が今なお起きているので、共働き世帯に負担がかからないように、保育士の給与・待遇の改善を行い、保育園を増やしても大丈夫なようにしてほしいです。
- ・ 住んでいる地域からの同年代の流出が進んでいる気がする。このまま高齢化が進むと心配なので、子育て世代が暮らしやすい環境造りに注力するなど、幅広い世代が過ごしやすい環境になっていけばいいと思う。
- ・ 産後すぐ、助産師さんに赤ちゃんを見てもらって、母親は数時間寝たり休んだりご飯を食べたりできる場所を公共に作って欲しい（民間はすごく高いので）。愛知県内にはあると思うが住んでる地域にはない。

## 6 交流の場

- ・ 地域の人に参加するイベントがあると、もっと交流できる機会が増えると思います。
- ・ 少子高齢化や核家族化が進み、地域の交流などかわりが希薄となっていると思われる。
- ・ 相談機関を身近に感じたい、若者にとって近寄りやすい場所があれば駆け込めるのではないか。
- ・ 地域でのお祭りをしたり、地域で楽しめる行事、身近にみんなで遊べる場所があると楽しそう。緑が豊かなままがいいと思います。
- ・ 子育ての悩みを聞いたり、雨の日でも子どもを連れて遊びに行ったりできる施設がもっと増えたら、子育てしやすい社会になると思います。
- ・ 昔より、地域との交流、地域行事が減っているように感じる。地域の皆がつながることで、緊急時にもいろいろ円滑にいくと思うので、もっといろいろあるとよいと思う。餅投げとかも、減りましたね。
- ・ インターネットでのつながりより人と人との会話や交流を大切にしてほしいと思う。
- ・ 家を買って今住んでますが、仕事の時間など出勤のため、近所の人とあまり関わりがなく、挨拶はしたりしますが、地域でお祭りがあるといいなと思ったりします。
- ・ 不安や悩みは夜に考え、気持ちが下がるものなので、夜に気軽に電話相談ができる窓口があったらいいなと思う。
- ・ 地域住民同士の繋がりは薄いと感じています。何かあった時に助け合えるような関係づくりをする機会があると良いと思っています。
- ・ コロナ禍で外出する機会や、体験する同じ年齢の子と遊ぶ行事も少なく、またしづらいのが続いているため、少しでも機会が増えてほしい。また、支援の方法が増え、選択できるようになってほしい（買い物サービスや託児サービス等の充実）。
- ・ 地元（富山県）と比べると地域の繋がりが希薄（時代なのかもしれませんが）。核家族が多いので、地域の人同士で助け合えたりするといいなと思う。なかなか深く知り合うきっかけがなく、学生時代の友人と比べると距離がある。

## 7 地域開発

- ・ 娯楽施設を増やす。
- ・ 1人の時間を過ごすための場所。
- ・ おいしい飲食店が増えてほしい。
- ・ 通院、薬代の無料化（義務教育期間）
- ・ 愛犬と一緒に入れる施設が増えると嬉しいです。
- ・ 夜暗い道があるので街灯が欲しい(田んぼ道等)。
- ・ 防犯カメラを増やして欲しい。街灯が少なくて暗い。
- ・ インドアが増えてきてるのでアウトドアの施設を増やす。
- ・ ボランティア精神を養える機会があれば、ぜひ参加して社会性や奉仕の精神を学びたい。
- ・ 街灯が無く暗い所が沢山あるように感じるからもう少し街灯の設置をすべきだと感じた。
- ・ 駐車場のある公園が少ない。雨の日子どもが遊べる施設などが少ないように感じます。
- ・ 堅実で良い土地柄だと思うが、遊び心が少ない。若者が楽しみながら活躍できるイベントが欲しい。
- ・ 駅前の通園通学路にはガードレール、ガードポールを作って欲しいです。

- ・古い空き家の放置が目立つ。古くて汚い公園が多い。若い世帯が住みたくなるような町づくりをしてほしい。
- ・デジタル技術の浸透が少ない。高齢者が多いことを理由にそれらを敬遠しているように思えるが、過渡期の現在は割り切って考えるべきだと思うし、デジタル化の周知が甘いように思える。
- ・小学校の通学路が、道幅が大変狭く、またコンクリートのブロック塀が多くあるので、通学路の安全対策を進めていただきたい。
- ・古い公園が増えている。遊具のメンテナンスや既存の公園のリニューアルなど子どもと暮らしやすい街にしていきたい。
- ・街灯の少ない場所が多く、特に夜間や暗くなるのが早い秋冬は、外を歩くのが不安な時があるので、街灯を充実させてほしいです。

## 8 観光

- ・産業都市に加え、観光名所や専門店街を増やして魅力ある県にしてほしい。
- ・大学生を支援する政策がもっとあればいいと思う。愛知は他の県に比べ地元志向が強く、進学、就職で地元を出る人が少ない印象がある。にもかかわらず地元に対しての愛着心が薄いような気もする。大好きな街をもっと胸を張って、大好き！と伝えられるように、ポジティブな愛知の魅力発信をしてほしい。名古屋めしなどではなく、観光地としてのPRをもっと推進してほしい。
- ・県内の各地域に魅力や特色が欲しい。自分は山間部出身だが、そこを離れて、現在は市街地で生活している。山間部にも、紅葉や桜などで、有名なところはあるが、他にも例えば冬のイルミネーションを街を挙げてやる地区があってもいいと思うし、お祭りやイベントを大々的にやる地区があってもいいと思う。何か集客できたり、そこに定住・永住したいと思える魅力が各地区にそれぞれあるといい。県で、県内各地の観光マップや観光地紹介ホームページを作って欲しい。食事や観光地など地区ごとにはあるが、統一されたものがない。コロナで県内旅行が増えた今年に、調べたら見つけたりするときの不便さを感じました。

## 9 交通

- ・運転マナーが悪い。
- ・公共交通機関がもっと充実してほしい。
- ・免許返納後の交通手段の充実を希望します。
- ・地元の道路整備状況が悪い。公共交通網の格差。
- ・運転が荒い方がいて、怖い思いをすることがあります。
- ・車、自転車の交通マナーが悪いので見回りをしてほしい。
- ・道路の渋滞が激しい。道が混んでいて、移動に時間がかかる。
- ・自転車で走りづらい道が多いため自転車専用道路のような道が欲しい。
- ・電車賃が高いように思う。学割制度を様々なところで充実させてほしい。
- ・危険な交差点に信号機をつけてほしい。もしくは警察官を立たせてほしい。
- ・もう少しバスの乗車場所を増やしたり、時間を増やして欲しいと思いました。
- ・歩道が狭く車と距離が近い危険な場所が多い。子供の親としては、とても心配。
- ・道路の白線や横断歩道が消えていて驚いた（他県から来たため）。早急に改善してほしい。
- ・車を運転する際、見にくい十字路があり、ミラーをつけて欲しいと思う場所が近所にある。

- ・ 道路をもっと整備してほしい。歩道はもちろん、車道の拡張、右折レーンや矢印信号の設置等。
- ・ 東京、大阪以上に持続的成長する街づくりが必要だと思う。リニアモーターカーで東京と近くなる。公共交通機関の更なる充実や交通費引き下げ。
- ・ 近隣の静岡県と比べて道路が狭く、運転しづらい。事故を減らすためにも道路整備に力を入れて頂きたい。
- ・ 名古屋は歩道の環境が悪すぎる。もっと整備して過ごしやすくすることで安心安全な街づくりにつながると思っている。

## 10 政治・行政

- ・ 住民税の負担が大きい。
- ・ 若者が選挙に興味をもつような活動。

## 11 その他

- ・ 青空駐車が多すぎる。
- ・ 花火などを楽しめる場所がない。
- ・ 地域の自治会活動は不要と感じています。
- ・ 全国における愛知県の地位を上げてほしい。
- ・ 魅力のあるまちづくりを続けてほしいと思います。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で苦しむ若者のことを知ってほしい。
- ・ 今、便利な生活ができていますので、もっと過ごしやすくなると良いと思います。
- ・ 地域差があるように思う。車社会なので、高齢になったときのことを考えてしまう。
- ・ 自治会には属していたいと思うが、一度入ったらやめにくい、役員の仕事が負担と感じる。
- ・ これからの将来は、重大な犯罪や先行き不安な未来が想像ができるので、それらの取り組みを強化していただきたいです。
- ・ いつまでも昔と同様な形での地域活動（町内会など）は、現代社会とマッチしていないため、改善が必要と感じます。
- ・ 不審者情報（つきまといや罵声をあびせるなど）が流れてくるのがよくあるので、少なくなるとよいと思います。
- ・ 愛知県は、一生暮らすことのできるすばらしい地域だと思います。きっとわたしも、生涯愛知県民として過ごすでしょう。

---

子ども・若者の生活実態・意識調査

結果報告書（概要版）

令和4年1月

愛知県 県民文化局 県民生活部 社会活動推進課

電話：052-954-6175（ダイヤルイン）

E-mail：syakaikatsudo@pref.aichi.lg.jp

調査委託先 株式会社 名豊

---